No.

バングラデシュ農業普及計画
アフターケア調査団報告書

昭和62年6月

国際協力事業団
農業開発協力部

農開協
JR
87-29

JICA LIBRARY
1040341[8]

国際協力事業団

受入月日 '87.10.20	101
	80.7
登録No. 16939	ADT

序　　文

バングラデシュ農業普及計画（ＣＥＲＤＩ）は昭和５０年3月１４日から５８年１０月１２日まで8年半にわたり実施され、この間の技術協力によって着実にバングラデシュの地域農業の発展に貢献してきた。

近年、終了プロジェクトについても適切なアフターケアを実施することの重要性が認識されてきており、昭和６２年2月本プロジェクトを対象プロジェクトとして、アフターケア調査団を派遣した。

本調査団は、現地調査によってプロジェクト終了後の現状と問題点を把握すると共に、協力の効果をさらに有効たらしめるために機材供与等を含めたアフターケアの内容について「バ」側と協議するために派遣されたものである。

調査の結果、ＣＥＲＤＩは1982年9月農業省の機構改革により農業省農業普及局（ＤＡＥ）の一部に編入され、政府関係機関の研修施設として有効に活用されていた。

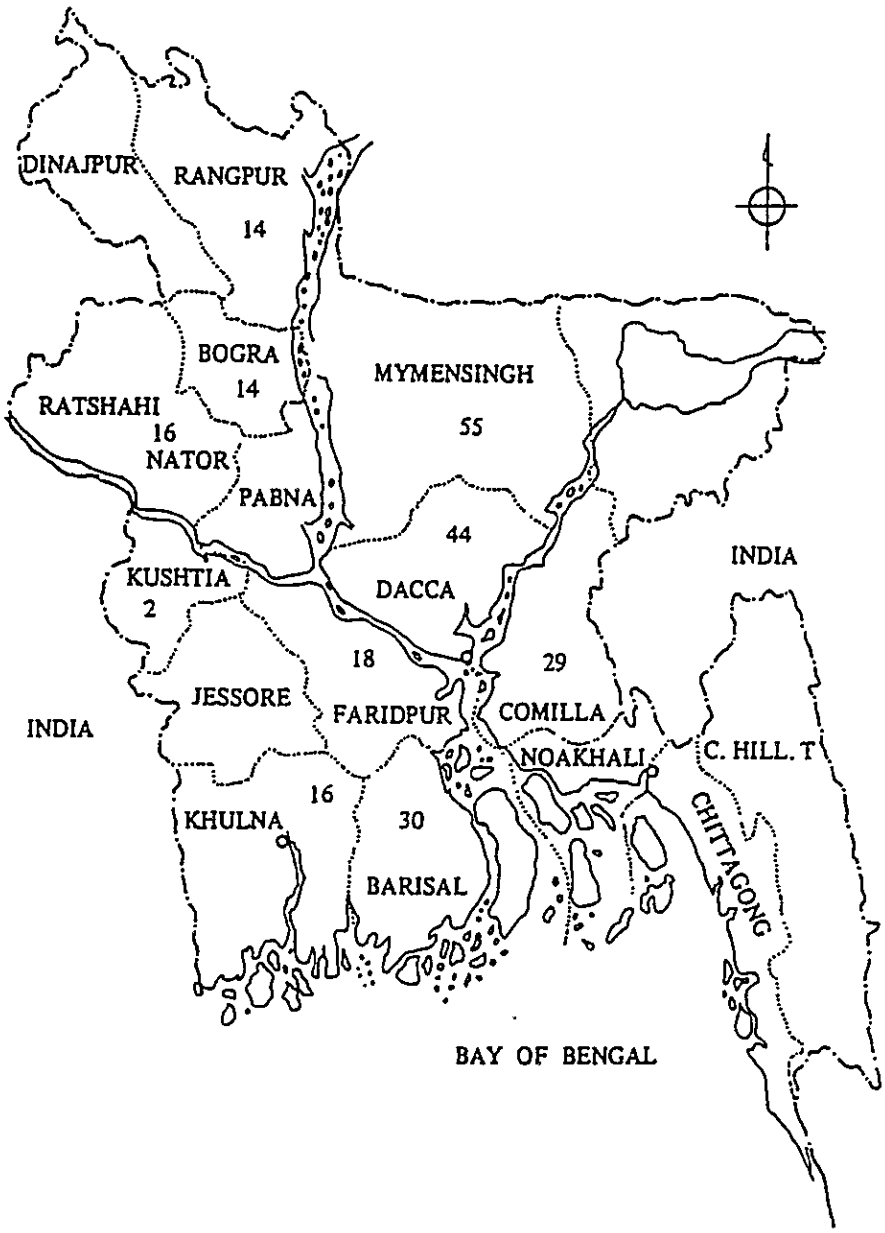
また、協力期間に供与した農業機械は耐用年数をすぎているものの、簡単な修理をすることで再度利用できるものも多く、また「バ」側も現在の機能を活性化して有効に機材を活用したい要望があり、このため必要な資機材を供与すること、及び必要に応じ短期専門家を派遣することの意義は大きいと判断された。

最後に、この報告書作成にご尽力いただいた大脇知芳団長はじめ団員各位並びに本調査の実施にあたりご支援いただいたバングラデシュ及び日本の関係各位に深く感謝の意を表する次第である。

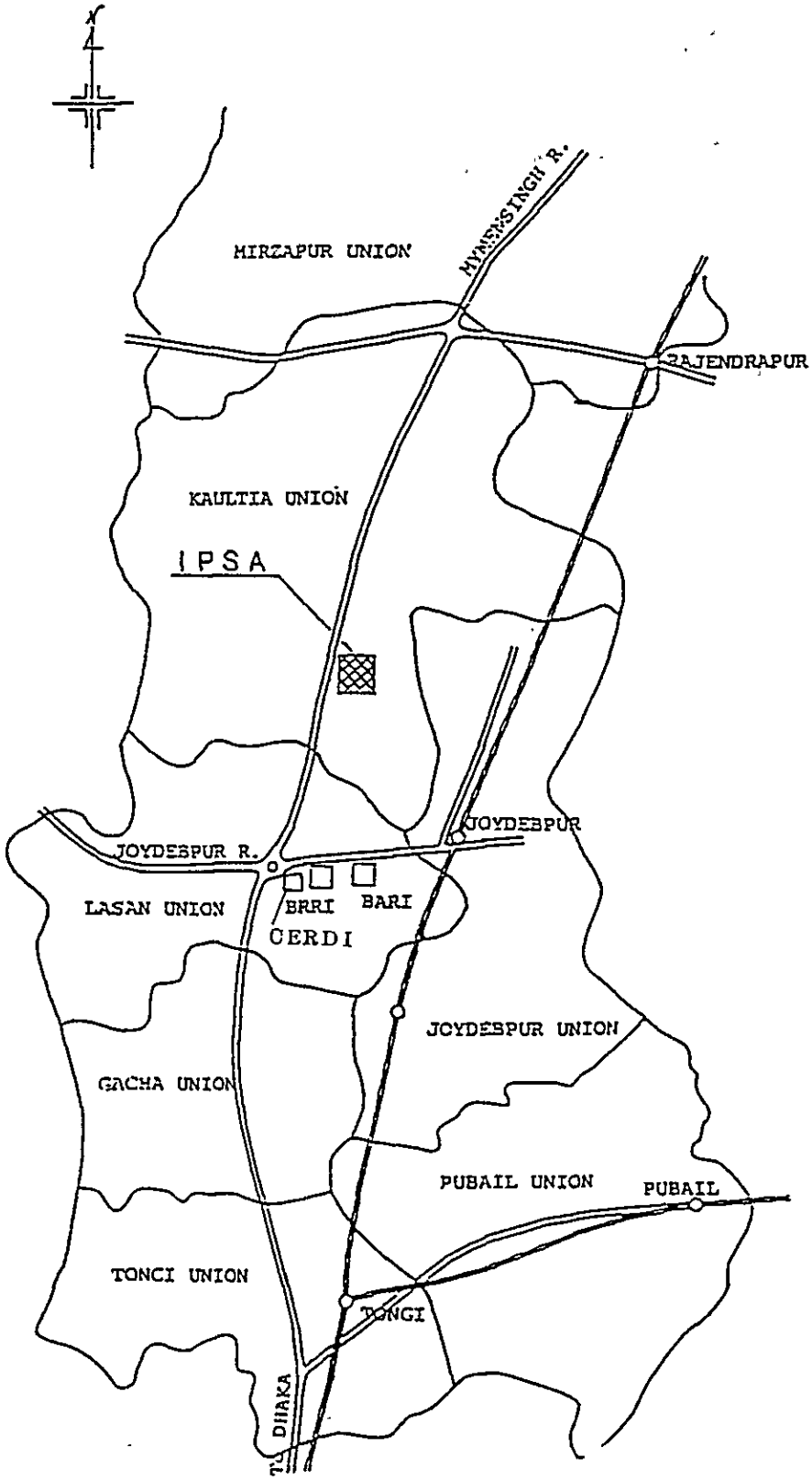
昭和６２年6月

国際協力事業団
農業開発協力部長
宮　本　和　美

MAP OF BANGLADESH



ＣＥＲＤＩ位置地図



ＤＨＡＫＡ～ＪＯＹＤＥＢＰＵＲ（車で１時間）

西村団員　　菅原団員　　大脇団長

ＣＥＲＤＩスタッフとの協議

無償資金協力による研修宿泊施設

ＣＤＣ（技術普及のための試験地）

ＣＤＣの展示圃

目　　次

プロジェクト位置図
写　真

Ⅰ　調査団の派遣……1
　Ⅰ－1.　派遣の経緯と目的……1
　Ⅰ－2.　調査団の構成……1
　Ⅰ－3.　調査日程……1
　Ⅰ－4.　主要面談者……2

Ⅱ　調査結果の概要……4
　1.　現　　況……4
　2.　概括的印象……4
　3.　アフターケア協力について……7
　4.　プロジェクト終了後の変遷……8
　5.　供与機材の現況とアフターケア……9
　　5－1　農業機械……9
　　5－2　アフターケアのフレーム……12

<付属資料>
1.　調査団挨拶状……15
2.　調査団レポート……17
3.　普及局、ＣＦＲＤＩの組織図……31
4.　プロジェクト概要表……35
5.　ＣＥＲＤＩ発行の印刷物一覧表……37
6.　研修員の動向一覧表……40
7.　ＣＥＲＤＩの訓練実績……42
　7－1　訓練実施の経費……52
　7－2　訓練カリキュラム……59
8.　ＣＥＲＤＩの訓練実施計画……66
9.　略 語 表……77

I 調査団の派遣

I－1. 派遣の経緯と目的

バングラデシュ農業普及計画は昭和５０年３月１４日から５８年１０月１２日までの８年半の技術協力を終了し、その後約３年を経過した。

本調査団は、当該プロジェクトの協力終了後の現状を調査し、とりわけ自助努力の成果の把握調査を行なうとともにアフターケアの必要性、すなわち当該プロジェクトの協力所期の成果を、更に活性化させるため、機材供与及び短期専門家派遣等の必要性、可能性について調査検討する。

I－2. 調査団の構成

(1) 総括（団長）　大脇知芳　(財)農村開発企画委員会主任研究員

(2) 農業普及　西村泰行　農林水産省農蚕園芸局普及教育課青少年班教育係長

(3) 農業機械　菅原清吉　元、ＪＩＣＡ専門家

(4) 業務調査　土生幹夫　国際協力事業団農業開発協力部農業技術協力課職員

I－3. 調査日程

(1) 調査期間

昭和６２年２月２１日～昭和６２年３月４日

(2) 調査日程表

日順	月日（曜日）	調査内容	宿泊地
1	２／２１(土)	東京 ―――→ バンコック	バンコック
2	２／２２(日)	バンコック ―――→ ダッカ	ダッカ
3	２／２３(月)	農業省・農業普及局表敬訪問 大蔵省・ＥＲＤ表敬訪問 日本大使館表敬訪問 ＪＩＣＡバングラデシュ事務所表敬、日程打合せ	ダッカ
4	２／２４(火)	計画省表敬訪問 ＣＥＲＤＩ　打合せ	ダッカ
5	２／２５(水)	ＣＥＲＤＩ　調査	ダッカ
6	２／２６(木)	ＢＡＲＩ（バングラデシュ農業技術研究所） ＢＲＲＩ（バングラデシュ稲研究所）調査	ダッカ

日順	月日（曜日）	調　査　内　容	宿泊地
7	2 / 2 7 (金)	報告書作成	ダッカ
8	2 / 2 8 (土)	BAU（バングラデシュ農業大学）見学	ダッカ
9	3 / 1 (日)	CERDIとSummayレポートの打合せ	ダッカ
10	3 / 2 (月)	バングラデシュ農業省、計画省、大蔵省調査結果報告 日本大使館、JICA事務所調査報告	ダッカ
11	3 / 3 (火)	ダッカ ―――→ バンコック	バンコック
12	3 / 4 (水)	バンコック ―――→ 東京	

I－4　主要面談者

大蔵省ERD補佐官

Mr.M.Muktadir Mazumder,

計画省海外協力担当課長

Dr.A.H.M. Altaf Ali

農業省次官補

Dr. Shamsur Rahman,Joint Secretary,Ministry of Agriculture

農業省農業普及局長

Mr. Shahidul Islam,Director General,Department of Agriculture Extension

農業省農業普及局訓練部長

Dr.A.N.M. Shamsul Huda, Director,Training Wing

バングラデシュ農科大学

Professor Dr.A.N.M.Abdul Qadir, DEPH, Parantology

Professor Dr. Ashraf Ali Khan, Director of Research

Professor Dr. S.M. Farouk. DEPH, Farm Power and Machinery

Associate Professor, Dr. Jobed Ali Marza

Dr. Abdel Halim,Director of Graduate Training Institute

Mr. Md. Serajul Islam Blnjar, Editer, Graduate Training Institute

バングラデシュ稲研究所（BRRI）

Dr. M.A. Mannan, Director General

Dr. Shamsul Alam, Director(Administration)

バングラデシュ農業技術研究所（BARI）

Dr. M.H. Mondal, Director General

中央農業普及技術開発研究所（CERDI）

Mr. Md. Qurban Ali Mian, Executive Director

Mr. Faizur Rahman Chowdhury, Deputy Director for Agriculture

Mr. Mokarram Hossain, Assistant Director for Agriculture Extension

Mr. A.K.M. Giasuddin Milki, Deputy Director for Training & Materials

コミュニティディヴェロップメント センター（CDC）

Mr. Md. Safdar Hossain, Assistant Director, Nouzam

Ⅱ　バングラデシュ農業普及計画アフターケア調査結果の概要

1. 現　　況

(1) バングラデシュの農業普及計画に対する日本の技術協力は、バングラデシュ人民共和国政府と日本政府の協定にもとづいて1975年3月から1983年10月まで実施された。

(2) この技術協力プロジェクトが終了後、既に3年が経過しているが、ＪＩＣＡが組織したこのチームは、日本の技術協力が実施されたＣＥＲＤＩの活動が現在どのように実施されているか、その後、どのような展開がみられたかを把握するとともに両国の関係者が必要性を認めた場合には、予算の範囲で、アフターケアの協力の内容について協議するために訪れたものである。

(3) 調査団は、滞在中、プロジェクトの実施されたＣＥＲＤＩの現地及びＣＤＣの設置された場所を訪れ、関係者からいろいろと状況について聞くとともに、ＣＥＲＤＩの活動と関係の強い研究機関（ＢＡＲＩ、ＢＲＲＩ、ＢＡＵ）も訪れ、関係者から有益な情報を得ることができた。

(4) 我々はバングラデシュ側からＣＥＲＤＩの機能が一層明確になっており、その強化について関係者が努力していることを知り大変うれしく思うとともに、ＣＥＲＤＩ活動を十分に発展させていくためには、職員住宅が非常に重要な要素になっていることを認識した。

(5) バングラデシュCERDIプロジェクトは、ＪＩＣＡの農業開発協力部が無償資金協力と一体的に実施したバングラデシュで最初の、そしてＪＩＣＡプロジェクトの中では例外的に長期間実施されたプロジェクトの一つであった。

今後のＪＩＣＡが実施するバングラデシュの他のプロジェクトを円滑に実施するために十分検討し、参考にしていく必要がある。

(6) 我々調査団の得た印象はほぼ以下のとおりである。

2. 概括的印象

(1) ＣＥＲＤＩの機能は、日本との技術協力が終了後、農業普及局の一つの機関として、農業技術の普及関係の上級及び中級の職員の訓練を実施する機関としての役割を担当するようになって、１２カ所ある普及員訓練所（ＡＴＩ）の教員及び大学卒業後の上級の専門別普及員（ＭＳＯ）、上級指導員（Instructor）、専門技術員（ＳＭＳ）等の訓練の面で、多くの成果をあげている。

(2) ＣＥＲＤＩで、研修を受けた上級の普及関係の職員は、全国に配置され、それぞれに重要な位置に昇進しており、それぞれの立場において、下級の普及員や農民の指導及び訓練の活動を通じてバングラデシュ農業及び農民の生活水準の向上のために、重要な貢献をしていることが伺がえた。

(3) そのために、日本から供与された施設や農機具及び調査分析関係の器機類は、既に、経済的

寿命にきているものもあり、より効率的な利用という点では、なお一層の努力工夫があってもよいと思われる点もいくつかあるが、全体的にはよく保管されて役立っている。

(4) 日本とバングラデシュの技術協力の成果は、ＣＥＲＤＩを中心として、カウンターパート及びＣＥＲＤＩで訓練を受けた研修生を通じて、プロジェクトの実施された地区のみならずバングラデシュの国全体に広範に波及しつつあることは高く評価できる。

(5) ＣＥＲＤＩの機能について

ＣＥＲＤＩは、1982年9月に農業省農業普及局（ＤＡＥ）の一部の機関として編入されるまでは、農業省以外の政府関係機関とはかかわりを持たない独自の機関であった。ＤＡＥに編入された後は、政府関係機関の研修施設として有効的に活用されている。コミュニティセンター（ＣＤＣ）も、地域の普及担当の局に移管されて、末端普及員（ＢＳ）の活動の拠点として活用されている。

(6) ＣＥＲＤＩが将来にわたってどのような機能を果たし、そのためにどのように施設を整備拡充していくかは、基本的にはバングラデシュ側がどのように考えるかという問題である。しかし、ＣＥＲＤＩの将来にわたっての具体的な活動計画とそれに必要な機材計画については、必ずしも十分に明確になっているとは思われなかった。

(7) ＣＥＲＤＩの保有する農機具等について

ＣＥＲＤＩは、試験研究機関で開発された基礎的研究の成果を農家レベルに効率的に普及させるための上級の普及関係の職員を教育訓練する機関としての本来の機能を発揮するための活動計画を具体的に策定し、そのために必要な機材や農機具類を効果的に整備していく必要がある。

ＣＥＲＤＩは、普及関係の上級職員（ＭＳＯやＡＴＩの教官等）の研修（教育、訓練）を行ない、そのための研修素材の開発行なうことを目的としているので、この目的を達成するための具体的な活動計画を策定し、これを踏まえて、現在ＣＥＲＤＩが持っている機材や農機具類をチェックすることが先ず必要である。

そのため、現在保有している機材や農機具類について、次のような区分をしてみることも役に立つと思う。

① 耐用年数が過ぎているもの。

② 簡単な修理で再度利用できるもの。

③ かなりの修理を必要とするもの。

④ 全く問題のないもの。

そして、耐用年数が過ぎているものについては廃棄処分すれば、保管のためのスペースも節約になると思う。

簡単な修理で利用できるようになるものもかなり見受けられたが、これらは、出来るだ

け速やかに修理することが必要である。機械類の中には、常に使っていないと駄目になるものが多くあるということについて、注意を換起する必要がある。

これらの修理については、ダッカで容易に技術者や修理に必要な部品を調達することが出来るものも多いと思われる。

これらの点検及び修理については、日本人専門家の協力が必要な場合には、要請にもとづき適当な専門家を派遣すること及び、修理のために必要なスペアーパーツなどの現地調達も含めて、予算の範囲で協力することが出来ると思われる。現地調達できないものは、日本から送ることが適当である。

ＣＥＲＤＩの農機具や機材については、ＣＥＲＤＩがＤＥＡの管理下に移行してから一部その機能が変化しているので、新しい機能を達成するという点から、

① ＣＥＲＤＩに必要なもの。

② 今後、あまり必要としないもの。

に区分し、必要としないものについては、他の有効活用できる機関や組織に移管又は貸与を行なうようなことが適当でないかと感じた。

ＣＥＲＤＩには、大型の精米機のセットがモミの乾操機とともに設置されている。これは、現在のＣＥＲＤＩの持っている農場での稲作規模に比べては大型過ぎるし、ＣＥＲＤＩの現在の上級の普及関係の職員の訓練のためには、必ずしも必要のないものであると思われる。

このセットのより一層の有効利用を図るために、適当な農民グループや農民組織に貸出しか又は払下げることによって、これらの集団的な農業生産活動の促進、強化を支援するのに使うのが適当である。

また、日本が供与した網室やグリーンハウスも訓練目的に必ずしも十分に活用されていないと思われた。これが十分に使われない理由の一つは、宿舎がないため１４時以降の管理が出来ないことと、その施設を利用しての具体的な訓練計画が前もって長期的に明示されていないためであると考えられる。

(8) ＣＥＲＤＩの職員住宅問題について

ＣＥＲＤＩには職員住宅がないために、優秀な職員が勤務したがらないという要因があることも留意すべき重要な点である。

ＣＥＲＤＩの立地しているジョイデプール地区には、農業技術研究所（ＢＡＲＩ）、稲作研究所（ＢＲＲＩ）などの研究機関が立地して大きな農業研究団地が形成されており、研究者達は日常的に相互に交流を行ない、情報の交換などを行なっている。しかし、ＣＥＲＤＩには、職員の住宅がないため、１４時以降になると誰もいなくなり、研究活動などの円滑な推進を防げる一つの要因となっている。この問題について一層の注意を払うことが重要であると感じた。

(9) ＣＥＲＤＩの教育訓練機能の強化について

ＣＥＲＤＩは、普及関係の上級職員を教育訓練する最高の教育機関であるが、農民に対する教育訓練を効果的に行なうことを実習することが大切になる。

そのため、ＢＳやＴＥＯを教育、訓練する上級あるいは中級職員も農民の教育訓練の方法について、実際の農場で実習しておく必要がある。農民や農民グループに対する農業技術の普及又は教育訓練の方法を実験し、実習する場として、ＣＤＣ地区を一層活用して行くことが考えられる。

3. アフターケア協力について

(1) ＣＥＲＤＩは、日本の技術協力の終了後、予算等の制約の中でバングラデシュの上級の普及関係職員の訓練とそのための素材開発に鋭意努力して日本からの供与機材、農機具等を有効に活用してきたが、プロジェクトのスタートからみると１２年余、プロジェクトの技術協力が終了してから既に３年以上たっており、供与機材、農機具等については、既に耐用年数を過ぎたものもある。

また、スペアーパーツの不足や一部の基本的部分の損もうによって利用出来ないものもある。

(2) 現在時点において最も必要なことは、新しいＣＥＲＤＩの機能とその展開計画に照してみて、これらの機械や農機具類をチェックすることであり、その必要性を踏まえて簡単に修理できるものについては、修理を行なうことである。

そのために、この機材や農機具のチェックについて協力し、簡単な修理等を行なうための短期の専門家２名程度の派遣とそれに必要な機材の調達とその経費について協力することが重要であると思う。

資材の調達については、現地調達が出来るものは、出来るだけ現地調達するものとする。

短期専門家の派遣は２回に分けて実施し、最初は１カ月程度で修理の可能性、必要性をチェックし、そのチェックに基づき、追加補足する機材のリストを確定し、現地調達を含めて購送するものとする。そして、これらのスペアーパーツが購送された後、必要に応じて修理を助言指導する専門家を派遣するものとする。

なお、追加補充の機材については、ＣＥＲＤＩの上級関係職員の訓練活動の強化促進のために必要と認められる基本的な機材の追加も含めることが適当である。

日本政府は、通常のコロンボプランの手続に基づいてこれらの機材や日本人等専門家の派遣を行うものとする。

バングラデシュ人民共和国政府は、機材の受取り及び専門家の受入れに必要な手続き（Ａ－4 Form、Ａ－１ Form）を行なうとともに、供給されたスペアーパーツや機械の管理、維持に責任を持つものとする。

また、これら供与機材の港からの輸送費及びＣＯＳＴなどのすべて必要な措置はバングラデ

シュの関係当局で準備されるべきである。

なお、ＣＥＲＤＩの機能を一層強化し、発展させるためには、職員住宅の建設の必要性があることが認められるが、これについては、アフターケア協力の範囲を超えるものであるので、かかる必要性があることをＪＩＣＡ本部に報告することとしたい。

4. プロジェクト終了後の変遷

4－1　無償協力施設

1983 年プロジェクト終了後のＣＥＲＤＩの活動状況は組織替えにより当初の目的とは異った訓練に重点をおく活用に変ったとは言え、日本専門家帰国後はすべてに予算がなく何もできないと言うのが現状である。また、ＦＡＯ、ＵＮＤＰ等の援助で、我が無償資金協力で建設した施設を利用して、農業関係およびそれ以外の分野での訓練にも利用されている。

無償協力による施設は、添付資料のとおり第３次国家開発５ケ年計画の人材育成の一環として活用されており、訓練の実績、計画等は別添資料のとおりであるが、訓練期間は長期のもので１ケ月、1.5ケ月、短期間で３～４週間の訓練もあり、人数も１回５０名程度、少ない場合は１５名程度の訓練もある。

年度別利用状況

1984 年　　２２回

1985 年　　２３回

1986 年　　１９回

1987 年　　１１回

訓練用の宿泊施設は４棟あり、部屋数３２、96人の収容能力がある。これはバングラデシュ唯一の最大収容能力規模を誇る訓練用宿泊施設として利用されており、長期にわたる職員宿舎の建設要望に対応するため４棟のうち１棟を職員宿舎に改造できないかとの当方の質問に対しては「バ」側のかなりの抵抗があり、バングラ国内での最大収容規模の訓練施設として維持して行きたい意向であった。

第３次開発５ケ年計画の中にある「Master training plan の Senior instructor に対する Teaching technique and Extension method」を参考までに添付する。(Government the people's Republic of Bangladesh Ministry of Agriculture.) 抜粋

4－2　ＣＥＲＤＩの出版物

プロジェクト協力期間中は多くの出版物が出され、農業普及の素材として実際農家に役立って来たが、プロジェクト終了後（1983 年10月）も引き継がれ1984 年～1986 年の間に、別添資材のとおり１８点が作成された。

又、「稲作の栽培暦」のカレンダーも作成され、各普及所や研究機関などに配布活用されて

いるのが印象的であった。

4－3　CDCの活動

3カ所のCDC（ババニプール、ポラパリ、ナウジュラ）も地域の普及担当局に移管され、末端普及員の訓練、農民の教育の場として活用されている。一方地域農業に根ざした展示圃が整備されており、最近のバングラデシュの農業事情を反映してか油料作物として菜種に代ってヒマワリの作付を奨励するため、ヒマワリの比較展示圃および小麦の品種比較試験の展示もなされており、CDC施設も充分活用されている。

4－4　日本で研修を受けた35名のうち13名がCERDIで働いており、少なからずCERDIの運営に関与しており、日本語のできる研修員も何人か居り、別添資料のとおり農業省の中で高位についているものもいる。

栽培担当のサイと言うカウンターパートは、日本の研修から帰って供与機材に関心をよせ殆んどの機械を自分で使い、また、上級普及員の教材として活用しているのが印象的であった。なお、機能していない資機材も教材として訓練生に展示し、一部講義用としても利用されている。簡単に修理し得る機材のみでも、修理して教材として活用することも有意義である。

5. 供与機材の現況とアフターケア

5－1　農業機械

プロジェクト実施中8年半の期間に、日本から供与された資機材は、多種多様にわたっており、その累積総額は約5億7千万円に達っしている。これらの資機材は、現在もCERDIの活動をささえる重要な役割をになっているが、供与年次から7～12年を経過し、またその間の稼動に伴い、償却年限を過ぎているもの、部品不足から有効活用出来ないものも少なくない。協定終了後の活動内容の変更からすべての機材が、プロジェクト実施期間中と同じ役割を果たしているとは言いがたいが、その保管には十分な配慮が払らわれていると見受けられた。今調査時は、短期日のため詳細な必要部品リストの作成までは至らなかったが、以下にこれらの機械状況等を項目別に報告する。

(1) ブルドーザー

コマツD－20P－3　1台、キャタピラ　1台の計2台が供与され、CERDI、CDC等の基盤整備に使用されて来た。

コマツD－20P－3で、現在まで、2,026時間の稼動を記録している。2台のブルドーザーとも各部オイルシールからの油もれ、履帯リンクピンの摩耗、トラック及びキャリアローラーの摩耗、メーンクラッチ、ステアリング関係ブレーキシュの摩耗があり、他の部分を含め、十分な機能回復のためには大修理が必要である。

(2) ホイールトラクター

訓練を主体とするＣＥＲＤＩの活動のもとに小型から大型までの２５台（内１台はクローラータイプトラクター）のトラクターが購送された。この内、ＣＥＲＤＩには１９台ある。この中で２台を除き、他１７台は部品不足及び事故等のため利活用出来ない状態にある。この中の２～３台は、陳腐化、事故等により、廃棄処分した方がいいと思われるものも含まれている。クボタ、Ｌ－２２０１で、最も多い1,049時間の稼動があるが、他は、500時間内外である。

粉失部品の調達で機能回復が可能なものと見受けられるが、オイルシール等からの油もれ、クラッチ板の摩耗、馬力低下の報告等もあり、詳細な調査が必要である。

(3) 耕 転 機

ガーデンティラーを含め３０台の耕転機が購送され、この内２２台がＣＥＲＤＩにある。使用頻度の少ない６台のガーデンティラーを除き、８台は部品待ちの状態にあり、その他についてもオーバーホール的な大修理が必要である。ＣＥＲＤＩから９年前に、ＣＤＣに配置された耕転機が、現在も３エーカーのＣＤＣ圃場のメーン耕転機材として活用されているが、油もれ、各部の摩耗も著しく、使用頻度の多い耕転機については、大巾な部品交換が必要と思われる。

(4) 自走式脱穀機（ハーベスター）

８台が購送され、ＣＥＲＤＩには６台ある。この内、使用頻度の多い５台については、この機械の特徴として、籾般送部の摩耗故障（スパイラルオーガー、ファン、リフト等）とＶ－ベルトの破損により使用不能の状態にある。この他、送別部のベアリング、シーブ、脱穀部部品についても、部品交換の時期に来ている。

(5) ポンプ（揚水器関係）

深井戸用ポンプ、スプリンクラー用ポンプ、小型ディゼルエンジンセット渦巻ポンプ等、計３８台が購送され、この内、ＣＥＲＤＩには３１台ある。現在稼動中の約１０台のポンプについては、十分な部品供給が今後必要と思われるが、その他のポンプについてはCERDIでの使用頻度は少なく、有効な利活用方法が考慮される必要がある。

この中で、深井戸用ポンプ３台分、スプリンクラー用ポンプ２台の付属品がないので使用できないという担当者（Mr チョードリー）からの報告があったので、今後検討する必要がある。

(6) その他の農業機械

動力噴霧機、精米機、籾乾燥機、各種トラクター用アタッチメントが購送された。使用頻度の多い、動力噴霧機、一部トラクターアタッチメントについては、詳細な必要部品のリスト作成が必要と思われるが、使用頻度の少ない、精米機乾燥機、トラクター用アタッチメント及びその他の機材については、今後、有効な利活用の方法が考慮される必要がある。

(7) ワークショップ関係（エンジンカットモデル等を含む）

ワークショップは各機の保守管理、訓練等に活用されている。特にエンジンカットモデルは、有効な訓練教材として利用されている。一般修理工具については、破損、紛失もあり、今後の円滑な保守管理を行うためには補充が必要と思われる。プロジェクト期間中、鎌、牛用鍬、唐箕等の試作が実施されたが、協定終了後のＣＥＲＤＩの活動内容の変更から、これら農具の試作等は、現在継続されていない。しかし乍ら隣接のＢＲＲＩワークショップで日本製唐箕をモデルとした試作が行なわれており、ＣＥＲＤＩからの波及効果と思われる。

バングラデシュ農業普及局としては、ＣＥＲＤＩのワークショップについて、将来、農業普及局保有の全機材をＣＥＲＤＩのワークショップで保守管理を行いたいという意向もあり、油圧リフトを含むワークショップ機材補充の要請があった。

(8) 在庫部品、パーツリスト、ワークショップマニュアル等について

プロジェクト実施中に部品供与を受けてから４～５年が経過し、この間の使用により在庫部品は現在少なく、このことが多くの部品待ち故障機材に結びついている。また部品、パーツリスト、ワークショップマニュアルの整理等についても、協定終了後の担当者の移動等から、かならずしも良好とは言いがたい。このため、今後の部品補給を考慮すれば、主な機材の英文パーツリスト、英文ワークショップマニュアルを補充する必要がある。

考察

購送された各資機材は、協定終了後３ケ年を経過した今日でも、プロジェクト成果を発展させる上で重要な役割を果している。

プロジェクト実施中と現在までの利活用の経緯から、これら各機材は次の区別が可能と考えられる。

1) 廃棄処分をした方がいいもの

（機材の陳腐化、経済的寿命がすぎているもの及び大事故等による破損機）

2) 大修理を必要とするもの

3) 簡単な部品交換等でいいもの

4) まったく修理等を必要としないもの

購送年次から約１０年間前後を経過している各機材は、その使用頻度と時間の経過から、多くの機材が部品交換を必要としている。在庫部品の不足と、現地で入手困難な部品状況下で、十分な利活用ができない部品待ちの機材が少なくない。廃棄処分をした方が良いと思われる機材を除き、他の各機は部品補給、修理によってその機能回復が十分に計かれるものと判断される。

このため、これら各機の詳細な必要部品リストの作成とそのテクニカル・ノウハウの移転も含めて、日本人専門家によって行なわれる必要がある。現地事情を考慮すれば、１名の専門家で、

1ケ月前後が必要と思料される。またリストアップした部品の中で、現地調達の可能性について検討することが必要と考えられる。これら必要部品の現地到着後、速やかに各機の機能を回復するため、またその修理技術の移転、部品整理、運行整備記録等の指導のため、最低2名の専門家を6ケ月間派遣することが必要と思われる。

これら各機の機能回復後の状況も考慮し、バングラデシュ側として、すべての機材の有効な利活用をはかるため、

1) CERDIの今後の活動に必要な機材

2) 今後のCERDIの活動にあまり必要でないもの

に区分し、今後のCERDIの活動に必要でないものについては、他の有効活用できる機関等や組織に移管や貸与を行うことを早急に検討すべきである。この他、バングラデシュ側の対応として、

1) 日本人専門家派遣のための迅速な事務処理

2) 機材リストの迅速な認可とりつけ及び通関措置

3) 日本人専門家の活動に必要な対応

が望まれる。

5－2　アフターケアのフレーム

プロジェクト実施期間中に供与された各種資機材は、協定終了後3ケ年を経過した今日でも重要な役割を果たしており、現在でもプロジェクト成果を維持発展させていく上で不可欠な要素となっている。しかし乍ら、供与されてから10年前後を経過し、部品不足から、その利活用が阻害されているものが多い。部品の補給と専門家の派遣によるこれら機材の機能回復と使用年数の延長は、供与機材の有効な利活用と、プロジェクト成果を一層向上させるものと考えられ、アフターケア協力として適切であると思料される。

今調査において、CERDIの活動状況、各機の状況とセンタースタッフ及び農業普及局担当者の要望等を考え合せると、アフターケアのプライオリティは次の通りとなる。

1) 訓練活動に係る印刷機材の機能回復（英語、ベンガル語の鉛製活字の導入）及び視聴覚機材の機能回復

2) 訓練生宿舎にある大型冷蔵庫等、無償協力による機材の機能回復

3) 訓練生用大型バスの機能回復

4) 農業機械、車輌他等の機能回復

5) ワークショップ機能の向上

バングラデシュ側農業普及局担当者からは、詳細な必要部品リストの作成と、各機の機能回復のための専門家派遣要請があった。

(1) 試験研究資機材

協定実施中、ＣＥＲＤＩのもつ基礎研究と普及の橋渡し、及び人材養成機能充実の上で、これらの機材は大きな役割を果たして来た。すなわち、実証試験、試験研究、調査等を通じての現地適応技術の確立、そしてこれらの成果をベースとして作成された７２部の訓練テキストによる訓練、普及はＣＥＲＤＩのもつ最大な特徴である。

協定終了後、中・高級公務員及び訓練所教官の訓練を主体とした機能の変更から、実証試験、試験研究等は多くは実施されていないが、バングラデシュ国内にあってＣＥＲＤＩほど試験研究資機材が整備されている訓練所は他になく、実験実習と各機の用途別説明が行なわれ、訓練の重要項目として活用されている。

また、日本留学帰りのスタッフにより、隣接ＢＲＲＩとの協同研究も行なわれ、機材が活用されている。しかし乍ら、粒数測定機（光電管破損）の故障、粘実歩合測定機の故障、ゴム管の硬化による破損等もあり、詳細な調査から、これらに対する部品補給が必要と思われる。

(2) 視聴覚機材

訓練活動充実の上で、オーバーヘッドプロジェクター、ビデオ、ビデオカメラ、テレビ、映写器等々が購送され活用されてきた。今日、これらの機材は、オーバーヘッドプロジェクター、ビデオカメラを除き、部品待ちの状態にある。中にはハロゲンランプ等の部品交換で簡単に機能回復が出来るものもあるが、陳腐化し、廃棄処分した方がよいと思われるものもある。バングラデシュ側からは、訓練機能充実のため、これら機材の部品補給と更新機材の要請があった。

(3) 印刷製本関係機材

協定実施期間中、ＣＥＲＤＩの成果波及の上で、訓練テキスト、資料、報告書作成に活用され、協定終了後から３ケ年を経過した今日でも、最も活用されている機材と見受けられた。バングラデシュ側からは、現在までの使用経緯から活字が不足しているので、鉛製の英語、ベンガル語活字セットをアフターケアーの第１プライオリティとして補充して欲しい由の要望があった。この他、コピー等もあるが、そのコピー能力は大巾に低下しており、部品交換及び機械更新が必要と思われる。

(4) 車輌関係

大型バス１台、マイクロバス２台、トラック３台、ジープ、ステーションワゴン等１０台、計１６台の車輌が購送され、ＣＥＲＤＩのダッカから約４０㎞離れている立地条件のもとで、訓練生、スタッフ等の往復、資機材の運般に活用されて来た。

協定終了後の今日でも車輌はＣＥＲＤＩの活動をささえる重要な機材の一つであり、走行１０万キロを超えているものも少なくなく、中には１６万キロの走行を記録しているものも

ある。事故等による廃棄処分をした方がよいと思われる２台を除き、他は、現地事情から考慮すれば、部品交換等により、運行可能なものと考えられる。大型バス１台、トラック２台、ジープ２～３台が部品待ちの状態にあり、特に大型バスについては、訓練に使用することから、バングラデシュ側からその機能回復のための部品補給について強い要請があった。車輌関係については、オーバーホールを含む修理が必要なものと思われる。

1. 調査団挨拶状

JAPANESE SURVEY TEAM FOR AFTERCARE COOPERATION

OF

THE PROJECT OF THE CENTRAL EXTENSION RESOURCES DEVELOPMENT INSTITUTE

The Project of the Central Extension Resources Development Institute (CERDI) started on March 14, 1975 based on the agreement signed on March 14, 1975 between the government of the People's Republic of Bangladesh and the government of Japan. Through the several phases of the Japanese Technical Cooperation, it was reported that it has made the vital effect to not only the level-up of the living standard of the farmers in Bangladesh by the production increasement, but the agricultural development in Bangladesh. And it has terminated on Octoer 12, 1983.

The Japan International Cooperation Agency (JICA) has dispatched this survey team in order to grasp the items as mentioned below.

1. Purpose

   (1) To Review of the current condition on related sites and facilities

   (2) To Discuss with the authorities concerned in Bangladesh on the necessity of the aftercare cooperation for the terminated project

   (3) To Consult the contents of the aftercare cooperation if both parties recognize the necessity the aftercare cooperation.

JAPANESE SURVEY TEAM FOR AFTERCARE COOPERATION

OF

THE PROJECT OF THE CENTRAL EXTENSION RESOUCES DEVELOPMENT INSTITUTE

Assignment	Name	Present position
(1) Team Leader	Mr. Chiyoshi OWAKI	Senior Researcher Rural Development Planning Commission
(2) Extension	Mr. Yasuyuki NISHIMURA	Extension and Education Div. Agricultural Production Burear Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF)
(3) Agricultural Machinery	Mr. Seikichi SUGAWARA	Independent
(4) Coordination	Mr. Mikio HABU	Technical Cooperation Div. Department of Agriculture, Japan International Cooperation Agency (JICA)

February 22, 1987 ~ March 3, 1987

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
2-1-1 Nishi-shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyou, JAPAN
Tel. 03-346-5262

2. 調査団レポート

2nd March 1987

Mr. A.M. Anisuzzaman
Secretary,
Ministry of Agriculture,
Government of the People's Republic of Bangladesh,
Dhaka.

Dear Sir,

It is my pleasure to submit herewith the summary report on the survey for Aftercare Cooperation for Central Extension Resources Development Institute Project which was completed on October 12,1983 (hereinafter referred to as"the Project").

The Japanese Survey Team for Aftercare Cooperation (hereinafter referred to as "the Team"), organized by Japan International Cooperation Agency, headed by Mr.Chiyoshi Owaki visited the People's Republic of Bangladesh from February 21 to March 4,1987.

During its stay, the Team could exchange views with the authorities concerned of Bangladesh about the present conditions and problems of CERDI and also about the contents of the Aftercare Cooperation necessary for the Project.

I would like to take this opportunity to express my sincere gratitude for the warm cooperation extended to the Team during our stay in the People's Republic of Bangladesh.

Very truly yours,

Chiyoshi Owaki
Leader
Japanese Survey Team for the
Aftercare Cooperation for
Central Extension Resources
Development Institute Project

cc:Dr. Shamsur Rahman
Joint Secretary,
Ministry of Agriculture,

Mr. Shahidul Islam
Director General,
Department of Agriculture Extension, Dhaka

Embassy of Japan and JICA Dhaka Office.

SUMMARY REPORT
OF
THE JAPANESE AFTERCARE SURVEY TEAM
FOR
CENTRAL EXTENSION RESOURCES DEVELOPMENT INSTITUTE PROJECT
IN BANGLADESH

The Japanese technical cooperation for Central Extension Resources Development Institute Project in Bangladesh (hereinafter referred to as 'CERDI') was carried out during the period from March, 1975 to October, 1983 under an agreement signed between the Government of Japan and the Government of the People's Republic of Bangladesh.

It is already three years since this project of technical cooperation was completed and now JICA has sent this survey team with the following objectives:

1. To see the present status and the activities of CERDI
2. To assess the development and the achievement accomplished by CERDI after its completion.
3. To explore the possibility of aftercare cooperation within the limitation of the JICA budget after the matter is discussed and agreed upon by the relevant persons of both the countries.

The team, during its stay in Bangladesh from 22nd February to 3rd March 1987, visited CERDI and its Community Development Centre(CDC) and obtained information on their present status from the concerned officers. The team has also visited several research establishments (BARI, BRRI,BAU) which have close relationship with CERDI and obtained valuable information from

the officers concerned.

We are pleased to know that CERDI has concrete plans & programmes for its future activities in order to strengthen its effectiveness and in that connection we strongly feel the necessity of constructing staff quarters within the compound of CERDI.

The CERDI project of Bangladesh was one of the longest JICA projects and was the first one to be implemented by the Agricultural Development Department of JICA under the Capital Grant Aid cooperation. It is therefore considered very important to evaluate the experience of operation and the achievement of CERDI in connection with the implementation of other JICA projects in Bangladesh as well as in other countries.

The impression and findings of our team are briefly stated hereunder. The team expects to submit to JICA Head Office a detailed report based on these impressions and findings.

IMPRESSIONS AND FINDINGS

After completion of the Japanese technical cooperation, CERDI has become an organ of the Department of Agricultural Extension under the Ministry of Agriculture. As a training institute for the mid-level and the high-level extension officers of agricultural technology, CERDI has been making a great contribution through implementing appropriate training programmes for the following persons:

1. Principals and Instructors of 11 Agricultural Training Institutes(ATI)and 1 Higher Agricultural Training Institute

(HATI) under the Department of Agricultural Extension.

2. New graduates appointed as Subject Matter Officers(S.M.O) under DAE.

3. Subject Matter Specialists (S.M.S) under DEA.

4. Officers of other government departments and agencies who are connected with agriculture.

We are told that many senior extension officers trained at CERDI are now posted on promotion at different places throughout the country and they are involved in imparting training and guidance to the junior extension officers as well as the farmers, and thereby making significant contribution to the agricultural development and to elevate the living standard of the farmers of this country.

Regarding the training facilities of CERDI such as agricultural machinery and implements, equipment & materials for research analysis, etc, some of them have already crossed the economic life and some of them are left underutilized (perhaps there could be more efforts for their effective utilization), but the overall condition is considered reasonable.

The result of Japan-Bangladesh technical cooperation in the CERDI project is considered to have tremendous effect not only on the project locality but also on the country as a whole through the counterpart personnel and the trainees of the institute.

FUNCTIONS OF CERDI

CERDI was directly under the Ministry of Agriculture until October 1983 when it was brought under the Department of Agricultural Extension (DAE). After this change the training facilities of CERDI have been gainfully utilized by several Government Departments & Agencies. The CDCs have been transfered to the Assistant Director, Agricultural Extension, Gazipur and they are still functioning as centers of activities for the farmers of the command areas.

The role and the functions of CERDI in future and the required facilities for the purpose are basically to be decided by the policy of the Bangladesh Government as per the guideline provided in the Gazette Notification No.P6E(PMU-E6R)-JTCP-42/83/177 dated Dhaka, the 24th June 1984.

AGRICULTURAL MACHINERY AND EQUIPMENT OWNED BY CERDI

Originally, the function of CERDI is to train the senior extension officers who will effectively transfer the results of basic reserach conducted by the testing & research organisations. For that purpose, CERDI must prepare a concrete plan of activities and at the same time the necessary machinery & equipment must be effectively maintained.

CERDI is imparting training to the senior extension officers (S.M.O.,Principals and Instructors of ATI, etc) for which

appropriate training materials have to be developed. For this purpose, a plan of activities has to be prepared which will be the basis to check again the machinery, equipment and materials presently owned by the institute. The check-list may be prepared under the following groupings:

1. The machinery & equipment which have crossed the economic life
2. The machinery & equipment which need only minor repair for reactivation
3. The machinery & equipment which need major repair
4. The machinery & equipment which are free from any trouble.

The machinery & equipment which have crossed the economic life may perhaps be disposed off in an appropriate manner and this will save some space as well. We observed a good number of machinery & equipment which need only minor repair for reactivation and we recommend a quick action regarding the matter. It is also important to remember that a machine may become useless if it is not operated for a long time.

We believe that many small parts for minor repair should be available locally. In connection with the inspection and repair of such euipment, it should be quite possible to send appropriate expet(s) from Japan for the purpose if a formal request is made through proper channel. In that case, it also should be possible to provide some fund (within the budgetary limitation) for the procurement of spare parts locally. The items not available locally will be sent from Japan.

It seems that there are some changes in the role & functions of CERDI after its merging with DAE. Considering the new role & functions of the institute, it is perhaps worthwhile to categorise the existing machinery & equipment under the following two headings:

1. Items essential for CERDI
2. Items not so needed by CERDI from now on.

The items which are not much needed by CERDI may be transfered or lent to some other appropriate organisation(s) for their effective and fruitful utilization.

We have seen that CERDI has a large size rice mill unit with dryers. The capacity of this mill is many times higher than the production capacity of the CERDI farms and moreover this facility is perhaps not essential for the training of the senior extension officers. It is therefore suggested that this rice mill unit may perhaps be best utilized either by renting it out to some appropriate group(s) of farmers or by disposing it off to them so that it is used in the promotion of agricultural activities rather than being kept idle.

We observed that the net houses and the green houses given by Japan are not necessarily utilized for the training purpose. The reasons are considered as follows:

1. There is nobody to take care of those houses after 2.00 p.m. since the facility of staff quarter does not exist within the compound.

2. Lack of any concrete and long-term training programme.

PROBLEM OF STAFF QUARTER OF CERDI

CERDI is located in Joydebpur Upazilla which has turned into a big complex of agricultural research due to the existence of BARI, BRRI, etc. These research institutions have staff quarters within their compounds and therefore the scientists can easily have mutual communication and exchange of information during most of the time of their daily life. But CERDI does not have any staff quarter which makes the institute almost dead after 2.00 pm. So, the lack of staff quarter is considered as a significant cause to deter the smooth and efficient functioning of the institute and this problem should receive the due consideration.

STRENGTHENING THE TRAINING FUNCTION OF CERDI

Although CERDI is an apex institute for the training of the senior extension officers, it is also considered essential to field test the method of effective training for the farmers. In this connection, the mid-level and the high-level trainees should be given field testing training regarding the methodology for imparting training to the Block Supervisors as well as the farmers. For extension services to the farmers, the CDCs can be gainfully utilized as the training field. It should be noted that the training methodology is as important as the agricultural technology from the view point of training.

AFTERCARE COOPERATION

After completion of the Japanese technical cooperation for the CERDI project, it has been functioning smoothly inspite of the financial constraint to impart training to the senior extension officers of Bangladesh utilizing the facilities donated by Japan. However, it is almost 12 years since the project started and more than 3 years after the project was completed. As a result, some of the equipment have already crossed the normal economic life and some other equipment are presently out of order due to the lack of spare parts.

Under the present circumstances, it is considered most important to clarify the new role & functions of CERDI and to check the necessary machinery & equipment to serve the purpose. At the same time, it is also important to identify the out of order items among the necessary equipment which can be repaired easily. In this connection the following cooperation from the Japanese side is recommended:

1. Sending of short-term experts to check all the machinery & equipment, to identify the items which can be repaired easily and to prepare the list of spare parts needed and local procurement of spare parts should be done as far as possible within the budgetary limitation of the aftercare cooperation. The items not available locally will be sent from Japan.

2. After the list of spare parts is finalised and the procurement locally as well as from Japan is almost

complete, appropriate short term expert(s) will be sent from Japan to assist in the actual repair work. It is also advisable to request for any additional equipment which CERDI may need to strengthen its functions.

The Japanese Government can provide the experts mentioned above as well as the equipment & material according to the procedure of the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

The Government of the People's Republic of Bangladesh may take necessary measures to accept these experts, equipment & materials (A-1 Form, A-4 Form) and should take the responsibility to protect & maintain the equipment and the spare parts to be donated by the Japanese Government. Furthermore, the appropriate departments/agencies in Bangladesh should do the necessary formalities for custom clearance and local transport of the equipment & spare parts.

The necessity of building staff quarters within the CERDI compound is strongly supported to enhance the efficient & effective functioning of the institute, but unfortunately such assistance is beyond the scope of the aftercare cooperation. However, the matter will be conveyed to JICA Head Office for consideration.

MEMBERS OF THE TEAM

(Assignment)	(Name)	(Present position)
(1) Team Leader	Mr. Chiyoshi OWAKI	Senior Researcher Rural Development Planning Commisison
(2) Extension	Mr. Yasuyuki NISHIMURA	Extension and Education Division Agricultural Production Burear Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(MAFF
(3) Agricultural Machinery	Mr. Seikichi SUGAWARA	Independent
(4) Coordination	Mr. Nikio HABU	Technical Cooperation Div Department of Agriculture Japan International Cooperation Agency (JICA)

I T E N E R Y

Feb. 22	(Sun)	Arrive at Dhaka by TG 321
23	(Mon)	Courtesy call to: Department of Agriculture Extension, Ministry of Agriculture External Reseources Division,Ministry of Finance Embassy of Japan and JICA Dhaka Office
24	(Tue)	Courtesy call to Division Chief,Planning Commission Visiting CERDI, Joydebpur
25	(Wed)	Visiting CERDI, Joydebpur
26	(Thu)	Visiting Bangladesh Agriculture Research Institue (BARI),Joydebpur Visiting Bangladesh Rice Recearch Institute (BIRRI), Joydebpur
27	(Fri)	Preparation of report
28	(Sat)	Visiting Bangladesh Agriculture University (BAU), Mymensingh
Mar. 1	(Sun)	Visiting CERDI, Joydebpur
2	(Mon)	Reporting to the authorities concerned of Bangladesh, Embassy of Japan and JICA Dhaka office
3	(Tue)	Leave Dhaka by TG 322

LIST OF OFFICIALS CONCERNED

Ministry of Finance

Mr.M.Muktadir Mazumder, Assistant Chief, External Resources Division

Planning Commission

Dr.A.H.M. Altaf Ali, Division Chief,Planning Commission

Ministry of Agriculture

Dr. Shamsur Rahman,Joint Secretary,Ministry of Agriculture

Mr. Shahidul Islam,Director General,Department of Agriculture Extension

Mr. A.N.M. Shamsul Huda, Director,Training Wing

Bangladesh Agriculture University

Professor Dr.A.N.M.Abdul Qadir, DEPH, Parasitology

Professor Dr. Ashraf Ali Khan, Director of Research

Professor Dr. S.M. Farouk. DEPH, Farm power and Machinery

Associate Professor, Dr. Jobed Ali Mirza

Dr.Abdel Halim,Director of Graduate Training Institute

Mr.Md.Serajul Islam Bhuyan, Editor, Graduate Training Institute

Bangladesh Rice Research Institute (BIRRI)

Dr. M.A. Mannan, Director General
Dr. Shamsul Alam,Director(Administration)

Bangladesh Agriculture Research Institute (BARI)

Dr. M. H. Mondal, Director General

Central Extension Resources Development Institute (CERDI)

Mr. Md. Qurban Ali Mian, Executive Director

Mr. Faizur Rahman Chowdhury, Deputy Director for Agriculture

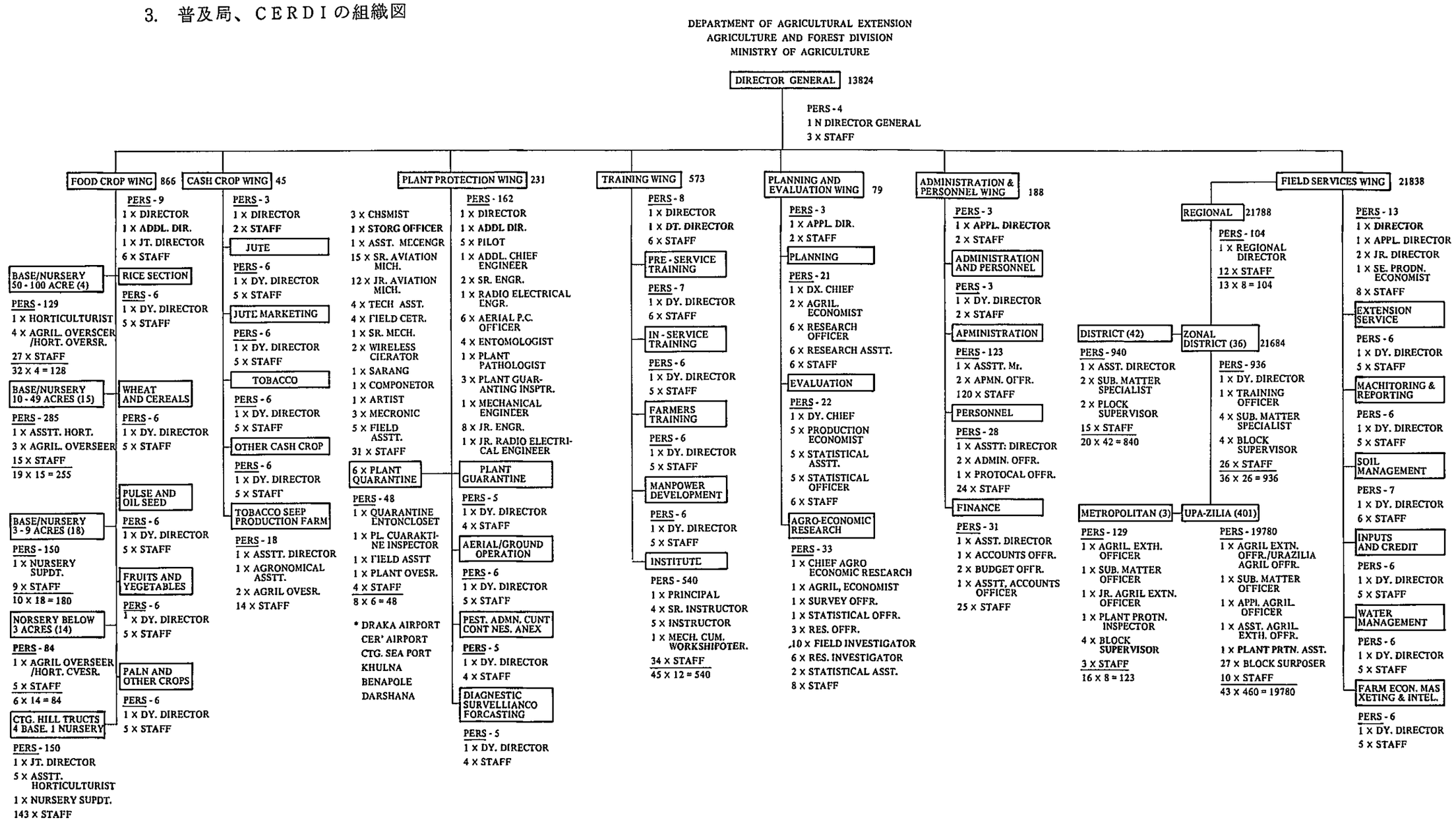
Mr. Mokarram Hossain, Assistant Director for Agriculture Extension

Mr. A.K.M. Giasuddin Milki, Deputy Director for Training & Materials

Community Development Center (CDC)

Mr. Md. Safdar Hossain, Assistant Director, Nowzore, Gazipur

3. 普及局、CERDIの組織図



SUMMARY OF MANPOWER

SL-No.	NAME OF POST.	SANCTIONED	EXISTING	REVISED
	CLASS - I			
1.	DIRECTOR GENERAL	1	1	1
2.	DIRECTOR	5	5	5
3.	ADDL. DIRECTOR	6	6	5
4.	CHIEF PILOT	1	1	1
5.	PILOT	5	5	5
6.	ADDL. CHIEF ENGINEER	1	1	1
7.	REGIONAL DIRECTOR	8	8	3
8.	JOINT DIRECTOR	5	5	5
9.	DEPUTY DIRECTOR	31	51	50
10.	ASSTT. DIRECTOR	54	50	46
11.	PRINCIPAL	13	13	12
12.	TRAINING OFFICER	24	24	26
13.	SUB. MATTER SPECIALIST	82	82	188
14.	SENIOR PRODUCTION ECONOMIST	1	1	1
15.	SENIOR ENGINEER	2	2	2
16.	RADIO ELECTRICAL ENGINEER	1	1	1
17.	AERIAL P.C. OFFICER	6	6	6
18.	ENTOMOLOGIST	4	4	4
19.	POANT PATHCLOGIST	1	1	1
20.	JUNIOR ENGINEER	9	9	9
21.	MEDICAL OFFICER	1	1	1
22.	MECHANICAL ENBINEWR	1	1	1
23.	GUARANTING ENTOMOLOGIST	6	6	6
24.	SENIOR INSTRUCTOR	44	44	48
25.	INSTRUCTOR	96	96	60
26.	DEPUTY CHILF	2	2	2
27.	CHIEF (AER)	1	1	1
28.	AGRIL ECONOMIST	3	3	3
29.	PRODUCTION ENONOMIST	5	5	6
30.	STATISTICAL OFFICER	6	6	6
31.	SURVEY OFFICER	2	1	1
32.	RESEARCH OFFICER	30	10	9
33.	HORTICULTURIST	4	4	4
34.	ASSTT. HORTICULTURIST	20	20	20
35.	ACRIL ESTH. OFFR./UPA-ZILLA ALRIL OFFR.	450	450	468
36.	SUB. MATTER OFFICER ADDL. A.O.	647	639	929
37.	AGRONOMICAL ASSTT.	1	1	1
38.	CHRMIST	3	3	3
39.	ACCOUNTS OFFICER	2	2	2
	TOTAL	1,584	1,571	1,946
40.	CLASS - II	229	229	503
41.	CLASS - III	18,557	18,488	18,278
42.	CLASS - IV	3,201	3,200	3,097
	GRAND TOTAL	23,572	23,488	23,824

ＣＥＲＤＩの組織図と人員配置

現在　139 名

当初　151 名
　　－12
　　139 名　削減　12 名
　　事務　5 人
　　技術　7 人

ORGANIZATION CHART OF CERDI

EXECUTIVE DIRECTOR

- 1 Stenographer
- 1 Peon

Instructional Co-ordination Unit

- 1 D.D.A.E. (I.C.)
- 1 Sr.Instructor (Training Need Assessment and Course Design)
- 1 Sr.Instructor(Teaching methods/Instructional techniques)
- 1 Sr.Instructor(Training Management)
- 1 Sr.Instructor(Horticulture)
- 1 Sr.Instructor(Plant protection)
- 1 Sr.Instructor(Farm Management)
- 1 Sr.Instructor(Agriculcure Extension)
- 1 Sr.Instructor(Agronomy)
- 1 Sr.Instructor(Soils and soil management)
- 1 Instructor(Agronomy)
- 1 Instructor(Soils & Soil management)
- 1 Instructor(Horticulture)
- 1 Instructor(Plant protection)
- 1 Instructor(Training management)
- 2 Steno-typist
- 1 typist
- 4 Peon

Agric.Management Development Unit

- 1 D.D.A.E.(Management Development)
- 1 Sr.Instructor(Personnel Administration and Human Relation)
- 1 Sr.Instructor(Management Development)
- 1 Instructor(Management development
- 2 Steno-typist
- 2 Peon

Administration & Finance Unit

- 1 A.D.A.E.(Admin)
- 1 S.M.O.(Farm operation.)
- 1 Administrative Officer
- 1 Accounts Officer
- 7 Farm Manager
- 1 Head Assistant
- 1 Accountant
- 1 Stenographer
- 2 Steno-typist
- 1 Bill assistant
- 1 Budget assistant
- 3 Home Improving agent
- 3 Fieldman
- 3 Mechanic-cum-operator
- 1 Caretaker
- 2 L.D.Assistant
- 2 Store keeper
- 1 Cashier
- 2 Typist
- 13 Driver
- 1 Cook
- 4 Peon
- 5 Mali
- 15 Watch-man/Guard
- 3 Sweeper

Training Materials dev. Unit

- 1 D.D.A.E.(TMD)
- 1 Sr.Instructor(Course material development)
- 1 Sr.Instructor(Print materials)
- 1 Publication Officer
- 1 Photographer
- 1 Artist
- 2 Translator
- 1 Librarian
- 1 Cataloguer
- 1 Printing machine operator-
- 1 Film projector operator
- 1 Steno-typist
- 1 Asstt.Printing machine operator
- 1 Store-keeper
- 1 Typist
- 1 Book binder
- 2 Peon

Farm Implement Adaptation Unit

- 1 D.D.A.E.(Farm Implement Adaptation)
- 1 Agriculture Engineer(R&M)
- 1 Agriculture Engineer(F.I.A)
- 1 Electrical foreman
- 2 Chief mechanic
- 4 Sr.mechanic
- 1 Sr.carpenter
- 1 Draftsman
- 1 Asstt.draftsman
- 1 Steno-typist
- 2 Store-keeper
- 1 Carpenter
- 4 Tractor/pump operator
- 1 Electrician
- 4 Workshop helper
- 2 Peon

4. プロジェクト概要表

<バングラデシュ>　　（日付：59.3.31 現在）

農業普及計画
(The Project of Central Extension Resources Development Institute)

1．R／D等署名日　：（R／D）５０．３．１４　（協定）５３．１０．１３

2．協力期間　：（R／D）５０．３．１４～５２．１０．１３
（協定）５３．１０．１３～５８．１０．１２

3．所在地　：ダッカ州ジョイデブール（ダッカ市より北３０km）

4．先方関係機関　：農林省（Ministry of Agriculture and Forestry）
中央農業普及技術開発研究所（ＣＥＲＤＩ）

5．我が方協力機関　：農林水産省

6．要請の背景　：バングラデシュにおける農業生産の増大及び農民の生活水準の向上を図るため、中央農業普及技術開発研究所を設立し必要な技術指導を行う。

7．目的・内容　：農業技術の普及体制の整備を目的として、次の事業を行う。
1）内外の改良農業技術の収集・分析
2）農業普及のための技術の開発
3）普及方法及び普及資材の開発
4）訓練及び指導
5）情報の普及

8．現状・目標達成　：訓練及び指導に対する技術協力並びに適正技術開発研究事業による鍬及び鋤の試作改良は高い評価を得た。

9．問題点　：1）「バ」国はローカルコスト負担能力が低く、プロジェクト運営費の７０％は人件費及び機材引取経費に充てられた。
2）「バ」側は「教育・訓練事業」が最重要で技術者の人材養成に力を注ぐべきだという考えがあった。
3）職員宿舎建設の無償協力及び日本側に農業機械専門家等派遣の要望があった。
4）「バ」国の農業普及システム全般が世銀の第２次農業訓練計画の援助対象となり日本が引続き協力することに大きな困難が生ずる恐れがあった。

11．専門家派遣
研修員
機材供与
ローカル・
コスト負担
（L・C）

年度	～53	54	55	56	57	58	合計
長期	9	3	1	6	2	0	21
短期	10	6	10	4	0	1	31
研修員	17	5	4	6	3	0	35
機材	351	53	128	57	22	10	621
L・C	22	10	41	82	16	5	176

（注）専門家・研修員は延人員、機材は金額で単位百万円。

12．他の経済協力との関係（無償・有償・個別専門家派遣・その他）
：無償資金協力　昭和51年度　7　億円
（中央農業普及技術開発研究所の建設）
昭和52年度　1.8億円
（コミュニティ・センターの建設）
昭和57年度　1.2億円　（家の建設）

13．評価　：

14．調査団　：1)事前調査　49年10月
2)実施協議　50年 3月
3)計画打合　53年12月　58年 9月
4)巡回指導　50年 9月　51年 3月　54年11月　55年10月
56年11月　57年 9月
5)エバリュエーション　58年 5月

15．国内支援　：

5. CERDI 発行の印刷物一覧表

LIST OF CERDI PUBLICATIONS.

Sl.No.	Title	Year of publication
1.	2.	3.
1.	Vegetable cultivation manual in Bangladesh	1977
2.	Rice cultivation technique by Diagram	1977
3.	Life history of Rice plant	1977
4.	Production prospect of short period leaf vegetable of South East Asian During Rainy season in Bangladesh.	1978
5.	Text book of the field practice(Rice cultivation)	1978
6.	Seed Quality and its production	1978
7.	Pretreatment of seed of Rice	1978
8.	Performance of Paddy Rice seedlings	1978
9.	Vegetable seed Production method in tropical & sub-tropical countries.	1977
10.	Farm Machinary Text - 2	1978
11.	,, - 3	1978
12.	,, - 4	1978
13.	,, - 5	1978
14.	,, - 6	1978
15.	,, - 7	1978
16.	,, - 8	1978
17.	,, - 9	1978
18.	,, - 10	1978
19.	,, - 11	1978
20.	,, - 12	1978
21.	,, - 13	1978
22.	,, - 14	1978
23.	,, - 15	1978
24.	Nuton Sobji Kankon-O-Kailan	1979
25.	Drivers and Mechanics hand book	1978
26.	Guide book for development of vegetable-Horticulture with capable seed production in Bangladesh.	1980
27.	Chaina Mular Chash	1980
28.	Ipil-Ipil	1980
29.	Agriculture Extension and Community Dev. in Bangladesh.	1980
30.	Training Report, No. - 1	1980
31.	Desiel Enginer Golojog Nirupan O Uhar Praticar	
32.	Training Report, No.-2.	1981
33.	,, No.-3	
34.	,, No.-5	1981
35.	Prakolpa Racord	
36.	News letter, upto March '81	
37.	Dhan Utpadon Protijogita	1981
38.	Unnata jater Dhaner folon bridhir upay	

Contd.....P/2.

1.	2.	3.
39.	Gari Chalak O Mechanicder Nirdeshika	1981
40.	Battery Shothik Babohar O Parichalana Padhati	1981
41.	Power Tillerer Parichalana Padhati	1981
42.	Shamprasharan Karjakram, CERDI	
43.	News letter, April-May	
44.	CERDI publication	1981
45.	Soil and plant samples analysis	1982
46.	Ciltural Practices with sub-optimum inputs	1982
47.	Krisheta Unnata O Adhunik Kala Kayshal	1982
48.	Shalpa Upakoroner Madhama Fasholer Paricharga	1982
49.	News letter, July'82	
50.	Baguner Majra Poka(Folder)	1982
51.	Unnata Padhatita Lauer Chash(Folder)	1982
52.	CERDI (About CERDI)	1983
53.	News letter, April/May , 83	
54.	Hasta Chalita Sprayer Baboharer Niamaboli	1983
55.	Krishi Shamprasharan Hand Book	1983
56.	Soils of Bangladesh	1983
57.	News letter, Sept.-Dec.	1984
58.	Grishna kalin Badha Kapir Chash	1984
59.	News letter, Janu.-March	1984
60.	Course Report(ATI Instructors Training Programme)	1984
61.	Course Report, Subject Matter Officers Training Programme	1984
62.	CERDI News letter, April-June,84	1984
63.	CERDI News letter, July - Oct. 84	1984
64.	Course Report, Upaziller agriculture Officer	1984
65.	" " BCS (Agril Agri)	1985
66.	News Letter (Jan- March. 85)	1985
67.	News Letter (April - June 85)	1985
68.	Course Report Senior Instructors Training Programs (September to October 28)	1985
69.	Advanced Trainers Work Shop (8 - 20 March)	1986

70. Management workshop for Principals of Agricultural Training Institutes (CERDI) I4-I9 June - I986

7I. Course Report Trainers Training on Agronomy, Soil and Soil Management Senior Instructors and Instructors (July I9-August-7) - I986

72. Course Report, Trainers' Training on Teaching techniques & Extension methods for Training Officers (Sept.06-25) - I986

73. Course Report, Trainers' Training on Teaching Techniques and Extension methods for subject matter Specialist (Oct. I8-30) - I986

74. Course Report on V.GP Kitchen gardening Poultry keeping and Fish rareiring (20.9.86 - 2I.I0.86) - I986

75. Course Report on Teaching Techniques and Extension methods for Instructor and Sr. Instructors of ATI(I3.I2.86-I.I.87) - I986

6. 研修員の動向一覧表

Present Post:

Year	Name	Present Post
1973	-	CERDI Project were established in 1976.
1974	-	,,
1975	-	,,
1976	Mr. A.S.M.Kamaluddin	Retired from Service.
	Mr. A.Saleque	Chief Mechanic, CERDI.
1977.	Mr. Nasirullah	DDAE, F.C.W., DAE, Khamarbari,Dhaka.
	Mr. Qumrul Islam	Chief Mechanic,CERDI.
1978.	Mr.Nurul Alam	Executive Engineer, BADC.
	Mr. Mofazzal Hossain	BARI,Sr.Scientific Officer.
	Mr. Afsar Ali Khan	Upazilla Agriculture Officer, Sonargaon,Narayangong.
	Mrs.Momtaz Ara	Librarian, Sangsad Bhaban
	Mr. Sahebullah Chowdhury	Serving under Iraqi Govt.
1979	Mr. M.A.Sattar	Chief Cotton Dev.Officer, Bogra.
	Mr. Masuduzzaman	Agri.Engineer(FIA),CERDI.
	Dr. A.H.M.Altaf Ali	Division Chief,Planning Commission.
	Mr. M.A.Mannan Ex.Director	Expired on 7.2.1987.
	Mr. Haque	?
1980	Mr. M.R.Chowdhury	SMS,DDAE Office,Farmgate.
	Mr. Kazi Rezaul Islam	In Japan.
	Mrs.Monowara Habib	HIA, CERDI.
	Mrs.Fatema Zohora	Catalouguer,CERDI.
1981	Mr.Nanda Lal Das	DDAE, Habigonj.
	Dr.Md.Ishaque	Retired.
	Mr. Nowab Ali Dewan	Sr.Instructor,CERDI.
	Mr. M.A.Sattar	Agri.Engineer(R & M),CERDI.
	Mr.Shahidul Islam	ADAE,Maulavibazar.
	Mr.A.E.M.Azad	Cotton Dev.Board

Contd. 2/P

Year	Name	Present Post.
1982	Mr.A.K.M.Mansur	Retired.
	Mr. Md. Yunus	SMS, Narayangonj.
	Mr. Mannan	ADAE, Rajbari.
	Mrs. Dilara Rahman	Librarian,CERDI.
	Mr. M.A. Wadud	SMS, Shariatpur.
	Mr. Birendra Lal Roy	Plant Quarantine Officer, Narayangonj.
	Mr.Amjad Hossaian Bhuiyan	Publication Officer,CERDI.
1983	Mr.A.K.M.Hossain	Not of CERDI.
	Mr. Azharul Haque	Electrical Foreman,CERDI.
	Mr. Giasuddin Khan	Sr.Mechanic, CERDI.

7. CERDIの訓練実績

TRAINING CONDUCTED AT CERDI

Year	Batch No	Duration			No of Days	Participants -Designation	No	Field of Training	Sponsoring Agency
1	2	3			4	5	6	7	8
1979	1	05.03.79	to	31.03.79	27	Instructors	40	Teaching methodology/ Agril. Extension.	JICA
	2	12.11.79	to	24.11.79	13 40	Instructors	16 56	Farm Machineries, Agril. Extension.	,,
1980	1	14.01.80	to	26.01.80	13	Instructors	23	Agronomy-1, Agronomy-11	,,
	2	22.09.80	to	04.10.80	13	,,(P.P.& H)	32	Horticulture, Plant Protection	,,
	3	06.10.80	to	11.10.80	6	T.A.O.	38	Agro. Soil, Agril-Extension, Plant Protection, Horticulture	,,
	4	10.11.80	to	15.11.80	6	T.A.O.	39	-do-	,,
	5	21.11.80	to	29.11.80	9 47	T.A.O.	19 151	-do-	,,
1981	1	22.12.80	to	10.01.81	20	Mechanic-cum-Workshop Officer	11	Agril. Machineries.	,,
	2	20.01.81	to	03.02.81	15	Overseers of ATI & CERDI.	18	Farm Mach. Agro, Horticulture Plant Protection, FMT.	,,
	3	04.03.81	to	09.03.81	16	T.E.O.	22	Agril. Extens Hort, Agro, P.P. S.S, F.M.	,,
	4	14.9.81	to	24.09.81	11	T.A.O.	28	S.S, Agro, P.P, A.M, Hort, Agril, Extension.	,,
	5	15.10.81	to	24.10.81	10	T.E.O.	18	Agro, Hort, S.S, P.P, P. control, Agril. Extn, F.M.	,,
	6	09.11.81	to	13.11.81	5	PMP Course selected Participants.	29	Practice of Management.	Coverdale

1	2	3			4	5	6	7	8
1981 (Contd)	7	20.11.81	to	28.11.81	9	T.E.O.	19	Agronomy,Hort,S.S,P.P,P.C, Agril.Extension,F.M.	JICA
	8	30.11.81	to	05.12.81	6	P.P.M.P.Course	31	Practice of Management Principles	Coverdale
	9	07.12.81	to	12.12.81	6	-do-	31	-do-	-do-
	10	14.12.81	to	24.12.81	11 109.	T.A.O.	22 229	Agro,Hort,P.P,Agri.Extension, S.S.	JICA
1982	1	04.01.82	to	09.01.82	8	T.E.O.	16	S.S,P.P,Agril,Extn,F.M,Hort.	JICA
	2	26.01.82	to	05.02.82	11	T.A.O.	30	Agro,Hort,P.P,F.M,Agril.Extn	,,
	3	15.02.82	to	20.02.82	6	Mechanic-Cum-Workshop Officer, ATI.	24	Farm Machinaries.	,,
	4	22.02.82	to	27.02.82	6	PPMP C.S.Participants.	26	Practice of Management Principles.	Coverdel
	5	08.03.82	to	13.03.82	6	-do-	35	-do-	-do-
	6	15.03.82	to	27.03.82	13	Ovrseers(Mid-level Officers of HDB,CDB,ISD of BAJP)	40	Hort,Agro,P.P,S.S,F.M,	JICA
	7	05.04.82	to	10.04.82	6	Technical Staff of Farm Mechanization Divn,CERRI	17	Motor Driving,F.M.	,,
	8	19.04.82	to	24.04.82	6	PMP Course Selected Participants.	31	Practice of Management principles.	Coverdale
	9	26.04.82	to	28.04.82	3	Youth & Farmers of CDC.	30	Hort,Plant Protection.	JICA
	10	29.04.82	to	30.04.82	2	Farm wives of 3 CDC'S	30	Hort,Plant Processing	,,
	11	10.05.82	to	15.05.82	6	Instructors of Hort,ABTI	22	Hort,F.M.	,,
	12	17.05.82	to	22.05.82	6	Instructors of ABTI on Extn, Plant Protection	18	Agril.Extn.Plant Protection	,,
	13	24.05.82	to	29.05.82	6	PPMP Course selected Participants	28	Practice of management principles.	Coverdel.
	14	31.05.82	to	10.06.82	11	Progressive Farmers.	44	Irrigation,Fertilizer	BARC

1	2	3			4	5	6	7	8
1982 (Contd)	16	21.06.82	to	03.07.82	13	T.A.O.	44	Hort,P.P,S.S.	JICA
	17	05.07.82	to	17.07.82	13	T.A.O.'S	25	Agronomy,Hort,Agril.Extn. Plant Protection,F.M.	,,
	18	02.08.82	to	11.09.82	41	TEO/Instructors	47	Induction	,,
	19	13.09.82	to	11.09.82	6	PPMP/C.S.Participants	26	Practice of Management Principles	Coverdel
	20	10.10.82	to	13.10.82	4	TEO.TAO,F.M,BADC	27	Oil Seeds Production Technology	,BARI,FAO,UNIP
	21	17.10.82	to	21.10.82	5	Instructions (Hort & Extn)	21	Hort,Agril.Extension.	JICA
	22	17.10.82	to	04.11.82	5	TEO,TAO	21	Wheat Cultivation	,,
	23	31.10.82	to	04.11.82	5	Instructors of A&TI(Agronomy I&II	23	Agronomy 1 & 11	,,
	24	21.11.82	to	30.11.82	10	Input supply officer,Cotton Unit Officer, Horticulture Overseer.	28	Farm Mechanization	,,
	25	19.12.82	to	30.12.82	12 214	T.A.O.of Field Services	14 692	Agro,P.P,Hort,S.S,Agril, Extension	,,
1983	1	27.02.83	to	10.03.83	13	SMS,Specialists, CRADI	27	Agro,P.P,Horticulture	,,
	2	20.03.83	to	24.03.83	5	PPM C.S.Participants	30	Practic of Management principles	Coverdel
	3	28.03.83	to	07.04.83	12	TAO,AAEO of Field Service	34	AAgro,Hort,P.P,S.S,F.M.	JICA
	4	16.04.83	to	21.04.83	6	PPM course selected Part.	29	Practice of Mangement Principles.	Coverdel.
	5	03.05.83	to	05.05.83	3	Workshop of principles.	15	Population control	FAO/UNIP
	6	06.05.83	to	07.05.83	2	SMS,DDA,AD,Traning Officers	24	T & V System	-do-
	7	14.05.83	to	18.05.83	5	PPM Course Selectted Participants	25	Practice of Management	Coverdel.
	8	05.06.83	to	08.06.83	4	S.M.S(Plant Protection)	26	Plant Protecttion,DAE.	JICA.

1983	9	24.07.83	to	04.08.83	12	Instructors (Agronomy-11)	18	Agronomy-1	JICA
	10	07.08.83	to	11.08.83	5	PPM Course selected Participants	20	Practice of Management principles.	Coverdal
	11	21.08.83	to	25.08.83	5	PPM Course selected Participants.	27	Practice of Management Principles.	Coverdal
	12	28.08.83	to	01.09.83	5	SMS,Hort.DAO	19	Teaching,Tech,Hort.	BARC.
	13	28.08.83	to	09.09.83	13	SSO,SO,SMS,ADA	12	Fertilizer efficiency	BARC,IFDC.
	14	25.09.83	to	29.09.83	5	PPM,Course selected participants.	34	-do-	,,
	15	23.10.83	to	27.10.83	5	-do-	24	-do-	,,
	16	27.11.83	to	01.12.83	5	-do-	29	-do-	,,
	17	11.12.83	to	15.12.83	5	Managers	12	-do-	,,
					110		405		
1984	1.	12.01.84	to	18.01.84	7	Rangers(1984)	200	National Ranger Campain.	Girls Guides
					5	Managers.PPM Course	12	Practice of Management principles.	Coverdal.
	2.	22.01.84	to	26.01.84	5	PPM Course selected participants	26	,,	,,
	3.	10.02.84	to	16.02.84	7	Girls Guide	80	Cadet Campain.	Cadet.
	4.	12.02.84	to	15.02.84	5	PPM course selected participants	30	Practice of Management principles.	Coverdal.
	5.	22.02.84	to	24.02.84	3	Social Welfare Female workers.	150	Workshop on gainful employment for rural women.	I.L.O.
	6.	04.03.84	to	15.03.84	12	Training Officer /Specialist of CARDI.	28	Training methodology.	FAO/UNDP, BC
	7.	11.03.84	to	15.03.84	5	PPM course selected practice.	26	Practice of Management principles.	Coverdal.

Contd.....

1.	2.	3.		4.	5.	6.	7.	8.
	8.	18.03.84 to	19.06.84	3 months	SMS, training Officers(DAE)	19	Crop production, technologies.	BARI.
	9.	08.04.84 to	12.04.84	5	PPM course selected.	26	Practice ofManagement principles.	Coverdal.
	10.	15.04.84 to	18.04.84	5	-do-	17	-do-	-do-
	11.	15.04.84 to	18.04.84		Principles ATI, Specialist CERDI	14	Teaching Methodology.	FAO, UNDP.
	12.	16.04.84 to	03.05.84	18	Instructors ATI	23	Co-op.Management,Agro.-II	DAE.
	13.	21.04.84 to	25.04.84	5	SMO's	60	Fertilizer demonstration.	FAO, UNDP
	14.	05.05.84 to	10.05.84	6	Cotton Dev. Board.	48	Subject Matter.	C.D.B.
	15.	09.08.84 to	11.08.84	4	Soil Scientist,BSRI, BARI,BAU,IRI,INA,CERDI	12	Sulpher.	
	16.	09.08.84 to	11.08.84	3	Women workshop of Social Welfare Dept.	60	Women in National Development.	Ministry of Welfare & women Affairs.
	17.	13.08.84 to	02.09.84		Subject matter Officer(promotees)	40	Teaching Technique Agril.Subj. Management Dev.	BARC.
	18.	10.09.84 to	12.09.84	3	Block supervisors	48	Fertilizer demonstration.	FAO,Fertilizer programme.
	19.	21.09.84 to	06.10.84		Field officers S.C.A.	26	Seed Certification	SCA/BARC
	20.	23.09.84 to	13.10.84	21	Scientific officers, BARC, BRRI, BARI.	40	Fertilizer	BARC.
	21.	20.11.84 to	09.12.84	21	S.M.O.'s(promotes)	39	Teaching technique,Agril, related subject management Dev.	BARC.
	22.	10.12.84 to	30.12.84	21	Upazilla Agril. officers.	40	Crop production Teaching technique Management Development	FAO/UNDP.
				251		1063		

Contd.....

1.	2.	3.			4.	5.	6.	7.	8.
1985	1.	23.01.85	to	07.02.85	28	Fresh reqruits of B.C.S. (Agril:Agril),(Induc - tion Training).	42	Management,Adminstration & Finanse Agril. related subject.	FAO/UNDP.
	2.	04.02.85	to	07.02.85	4	ERD and diff.Ministri- al personel & Interna- tional course partici- pant(international)	14	Management development (International)	ERD/Coverdel.
	3.	09.02.85	to	10.02.85	2	BRDB rural women workers	60	Refresher course.	BRDB
	4.	12.02.85	to	14.02.85	3	PSO, C.S.O, S.S.O,S.O of BARI,BRRI,BARC.	70	Workshop on Farm research	BARC.
	5.	17.02.85	to	20.02.85	4	ERD and different Ministrial personnel & International course participant(Interna- tional).	30	Management development (International).	ERD/Coverdel.
	6.	26.02.85	to	02.03.85	5	Local Union Pariead Chairman of Gazipur District.		Refreshers course.	LGRD/D.C.,Gazipur.
	7.	09.03.85	to	21.03.85	13	Subject Matter Specialist(SMS)		Water management.	BARC.

1	2	3	4	5	6	7	8	9
1985:	8.	18.3.85 - 28.3.85	10	Sr.Instructor,DDAE,CERDI,DDAE,AIS I/O AIS.	17	Workshop on Trainers Training by DTCP.	FAO/UNDP	
	9.	28.3.85- 3.4.85	7	Girls Guide	680	Girls guide campaing	BGA.	
	10.	6.4.85 - 18.4.85	12	S.S.O,S.O.,BARI	30	Fertilizer demonstration.	BARC.	
	11.	13.4.85- 18.4.85	6	SHO/JAEO/of DAE	36	Fertilizer demonstration	FAO/DAE Project.	
	12.	20.4.85 - 24.4.85	5	SHO/JEAO	40	Fertilizer demonstration.	FAO/UNDP/DAE Ferti.project.	
	13.	20.4.85 - 25.4.85	6	UAO	20	Management Development	FAO/UNDP.	
	14.	25.6.85 - 2.7.85	8	Sr.Instructor,CERDI,Sr.Instructor,ATI.	26	Low cost Media production (DTCP)	FAO/UNDP	
	15.	20.7.85 - 1.8.85	12	SHS	30	Water Management	BARC/DAE/FSD	
	16.	27.7.85 - 29.7.85	3	Jt.Director,DDAE(CERDI), M (ATI)	7	Curriculum planning for ATI- Instructors.	FAO/UNDP	
	17.	8.8.85 - 22.8.85	19	BADC Management workshop programme for Asstt. Manager of BADC.	90	BADC Management workshop programme for IDP Assistant Managers.	USAID	
	18.	7.9.85 - 12.9.85	6	Divisional and Regional Manager of BADC.	24	BADC Fertilizer Marketing	"	
	19.	14.9.85 - 28.10.85	45	Sr. Instructors, ATI	20	Teaching Technique & Extension Methods.	FAO/UNDP	
	20.	26.10.85- 5.11.85	11	SHS (Hort)	24	General Horticulture	FSD/FAO/UNDP	
	21.	16.11.85- 17.11.85	2	BRDB- Women Asstt.Rural Dev.Officers and Bang. Asociation for Community Education(BACE)- Representatives.	25+25	Women and Employment	BRDB/BACE	
	22.	18.11.85 - 20.11.85		do	50	Leadership and Management Dev.of Women Executives.	BRDB/BACE	
	23.	21.11.85 - 25.11.85	5	Jt.Director (Tr),-1 DDAE(Tr+CERDI)-3 pl.(ATI)-12	16	ATI-Curriculum and Farm Dev.	FAO/UNDP (City office)	

1	2	3	4	5	6	7	8	9
1986:	1)	8.3.86 - 17.3.86	10	DDAEs & Sr. Instructors, of CERDI and Sr. Instructors of ATI.	4+12+4=20	Advanced Trainers' Training.	FAO/UNDP/ DTCP.	
	2)	8.4.86 - 14.4.86	7	Principals, ATI	11(except Khadimnagar)	ATI Curriculum Dev. & Farm Dev.	,,	
	3)	12.4.86- 5.5.86	24	Youth Leaders of private Agencies and villages.	26 male +14 femals=40	Youth Leaders Training course for community Dev.	Dept.of Youth Dev.(DYD) and ESCAP.	
	4)	14.6.86- 19.6.86	6	DDAE=4 + Principals ATI-9 = 13	13	Training Management.	FAO/UNDP/DTCP	
	5)	14.6.86 - 3.7.86	3 weeks.	SMS(DAE)	30	Water Management.	BARC.	
	6)	25.6.86 - 26.6.86	2 days.	Block Supervisors	21	Ferti.Demonstration.	FAO/UNDP(DAE)	
	7)	28.6.86 - 29.6.86	2 ,,	Block Supervisors	21	,, ,,	,, ,, ,,	
	8)	5.7.86-14.7.86	10 ,,	B.C.C.Foundation students	40	Summar Camp.	B.C.C. ?	
	9.	6.7.86 - 6.8.86	1 month.	Asstt.Rural Dev.Officer, B.R.D.B.	25+1	Residental Training for Rural Poor Programme.	B.R.D.B/CIDA	
	10.	16.7.86 - 31.7.86 Dy.program coordinators Instructors of Youth Training Centre.	2 weeks.	(Graduates of Animal and and veterinary sciences)	13	Extn.Methods and Teaching	Deptt. of Youth Dev. M/o Youth and Sprots.	
	11.	19.7.86 - 7.8.86	3 weeks.	Sr.Instructors/Instructors of ATIs.	21	Agronomy,Soil and Soil Management.	FAO/UNDP	

1	2	3	4	5	6	7	8	9
1986:	12)	2.8.86 - 14.8.86	13 days.	S.H.O.(Ferti) and Engine and Pump	30	Fertilizer Demonstration	FAE/UNDP(DAE)	
	13)	a. 9.8.86-14.8.86	6 ,,	1) Field Supervisor-' and Engine & Pump Technician- CARE.	51	Land Lessoned Tube Well	CARE.	
				2) Palli Shetak-BRAC.		users support project	Do	
				3) Joined Field Organiser-		- Training.		
				4) Bank Worker-Gramin Bank.				
		b. 23.8.86-29.8.86	7 ,,	do	48	do	do	
		c. 30.8.86-5.9.86	7 ,,	a) Sr.Project Officer Jr. ,, ,, CARE b) Programme organisation-BRAC. c) Irrigation Engineer & Accountant-PRASHIKA.	56	do	do	
	14)	6.9.86-25.9.86	3 weeks.	Training Officer of DAE.	20	Teaching Techniques and Extension Methods.	FAO/UNDP.	
	15)	a. 20.9.86-27.9.86	8 days.	Female Block Supervisors	24	Valuable Group Feeding Programme (VGF) of World Food Program, Kitchen Gardening, Poultry Keeping and Fish rearing.	Do + WFP.	
		b. 1.10.86-8.10.86	do	do			Do + Do	
		c. 13.10.86-20.10.86	do	do			DO + Do	
		d. 22.10.86-29.10.86	do	do			Do + Do.	
	16)	18.10.86-30.10.86	13	SMSs of DAE	27	Teaching Techniques and Extension Methods.	Do + Do	
	17)	26.10.86- 11.11.86	17 days.	Sub-divisional Engineer LGE, MASHA, Dhaka, MASHA, Chittagong LGE Asstt. Engineer, Executive Engineer Superintending Engineer.	20	Micro Computors for water supply and sanitation planning and Design Management.	World Bank/UNDP	

1	2	3	4	5	6	7	8	9
1986:	18)	1.11.86 to 6.11.86	6 days.	DDAEs(CERDI-3) ,, (TW-2) ,, (PP-1) ,, (FCD-1) ,, (FSD-1) Principals-ATIs-10 Sr.Instructors-CERDI-5 23	23	Core Trainers'Training.	FAO/UNDP	REMARKS.
	19)	13.12.86 to 1.1.87	3 weeks.	Sr.Instructors-16 and Instructors-13	29	Teaching Techniques and Extension Methods.	Do	
1987 :	1)	31.1.87 to 5.1.87	1 week	B.Ss,SHO,Adll.UAO,SMS.	33	Soil and Land Use Guide	DAE and BARC.	
	2)	3.2.87 to 6.2.87	4 days.	Programme officers of World Vission.	40	-	World Vission	
	3)	14.2.87 to 19.2.87	1 week.	SMSs(DAE) Officers of BAU,BADC,BARC,BRRI,BARI, CERDI.	32	Biological ,Nitrogen Fixation(BNF)	BARC	

7 − 1 訓練実施の経費

Amount spent for training conducted so far at CERDI

Serial No.	Name of course	Period	No.of participant.	Amount spent/ Tk.	Fund giving Agency.	Remarks
I	2	3	4	5	6	7
I.	Teaching Methodology/Agril Extension.	5-3-79 - 31-3-79	40	Not available	JICA	Fund directly handeled by the agency concerned.
2.	Farm Machinery/Agril. Extension.	I2.II.79 - 24.II.79	I6	"	"	"
3.	Agronomy-I, Agronomy-II	I4.I.80 - 26.I.80	23	"	"	"
4.	Horticulture, Plan protection.	22.9.80 - 3.I0.80	32	"	"	"
5.	Agro.Soil, Agril.Extension	6.I0.80 -II.I0.80	38	"	"	"
6.	-Do-	I0.II.80- I5.II.80	39	"	"	"
7.	-Do-	2I.II.80 -29.II.80	I9	"	"	"
8.	Agril. Machinery.	22.I2.80- I0.I.8I	II	"	"	"
9.	Farm Mach.Agro.Hort. Plant Pro tection, FMT.	20.I.8I - 3.2.8I	I8	"	"	"
I0.	Agri.Extension, Hort.Agro. P.P., S.S. FM.	4.3.8I- 9.3.8I	22	"	"	"
II.	S.S.Agro. P.P. A.M. Hort. Agri. Extension.	I4.9.8I - 24.9.8I	28	"	"	JICA
I2.	Agro.Hort. S.S. BP.P.Control, Agril.Extension F.M.	I5.I0.8I. -24.I0.8I	I8	"	"	"
I3.	Practice of Mana gement	9.II.8I - I3.II.8I	29	"	"	Coverdale
I4.	Agronomy, Hort. S.S. P.P.P.C. Agril. Extension, F.M.	20.II.8I - 28.II.8I	I9	"	"	JICA

I	2	3	4	5	6	7
I5.	Practice of Management Principles.	30.II.8I-5.I2.8I	3I	"	"	Coverdale
I6.	-Do-	7.I2.8I -I2.I2.8I	3I	"	"	"
I7.	Agro.Hort. P.P.Agri.Extension.	I4.I2.8I-24.I2.8I	22	"	"	JICA
I8.	S.S. P.P. Agril.Exten.F.M. Hort.	4.I.82 -9.I.82	24	"	"	"
I9.	-Do-	26.I.82 -5.2.82	30	"	"	"
20.	Mechanic-Cum-Workshop Officer,ATI.	I5.2.82-20.2.82	24	"	"	"
2I.	Practice Mana gement Principles	22.2.82-27.2.82	26	"	"	Coverdale.
22.	- Do-	8.3.82- I3.3.82	35	"	"	"
23.	Hort.,Agro. P.P. S.S. F.M.	I5.3.83- 27.3.82	40	"	"	JICA
24.	Motor Driving, F.M.	5.4.82-I0.4.82	I7	"	"	"
25.	Practice of Management Principles	I9.4.82-24.4.82	3I	"	"	Coverdale
26.	Hort. Plant Pro tection.	26.4.82-28.4.82	30	"	"	JICA
27.	Horticulture, Plant Processeces.	29.4.82-30.4.82	30	"	"	"
28.	Horticulture, F.M.	I0.5.82-I5.5.82	22	"	"	"
29.	Agril. Extension/Plant Pro-tection.	I7.5.82-22.5.82	I8	"	"	"
30.	Practice of Management principles	3I. 24.5.82-29.5.82	28	"	"	Coverdale
3I.	Irrigation,Fertilizer.	3I.5.82-I0.6.82	44	"	"	BARC
32.	Hort. P.P., S.S.	2I.6.82-3.7.82	4[illegible]	"	"	JICA
33.	Agro. Hort. Agril.Extension, P.P., F.M.	5.7.82-I7.7.82	25	"	"	"
34.	Induction Training	2.8.82-II.9.82	47	"	"	"
35.	Practice of Management Principles	I3.9.82-I8.9.82	26	"	"	Coverdale.
36.	Oil Seeds Production Tech.	I0.I0.82-I3.I0.82	27	"	"	BARI,FAO,UNDP

1	2	3	4	5	6	7
37.	Hort. Agril. Extension.	I7.I0.82- 2I.I0.82	2I	"	"	JICA
38.	Wheat Cultivation.	I7.I0.82-4.II.82	2I	"	"	"
39.	Agronomy-I & II.	3I.I0.82-4.II.82	23	"	"	"
40.	Farm Mechanisation	2I.II.82-30.II.82	28	"	"	"
4I.	Agro. P.P. Hort. S.S. Agril. Extension.	I9.I2.82 -30.I2.82	I4	"	"	"
42.	Agro. P.P. Horticulture.	27.2.83 - I0.3.83	27	"	"	"
43.	Practice of Management Principles.	20.3.83-24.3.83	30	"	"	Coverdale
44.	Agro. Hort. P.P. S.S. F.M.	27.3.83-7.4.83	34	"	"	JICA
45.	Practice of Management Principles	I6.4.83-2I.4.83	29	"	"	Coverdale
46.	Population control.	3.5.83-5.5.83	I5	"	"	FAO/UNDP
47.	T & V System	6.5.83-7.5.83	24	"	"	-Do-
48.	Practice of Management	I4.5.83-I8.5.83	25	"	"	Coverdale.
49.	Plant Pro tection.	5.6.83-8.6.83	26	"	"	JICA
50.	Agronomy-I	24.7.83-4.8.83	I8	"	"	"
5I.	Practice of Management Principles.	7.8.83-II.8.83	20	"	"	Coverdale
52.	-Do-	2I.8.83-25.8.83	27	"	"	"
53.	Teaching Tech. Horticulture.	28.8.83-I.9.83	I9	"	"	BARC/IFDC
54.	Fertilizer efficiency.	28.8.83-9.9.83	I2	"	"	" "
55.	-Do-	25.9.83-29.9.83	34	"	"	" "
56.	-Do-	23.I0.83-27.I0.83	24	"	"	" "
57.	-do-	27.II.83-I.I2.83	29	"	"	" "
58.	-do-	II.I2.83-I5.I2.83	I2	"	"	" "

1	2	3	4	5	6	7
59.	National Hanger Compani	I2.I.84-I8.I.84	200	"	"	G'ls Guides
60.	Practice of Management Principles	-	I2	"	"	Coverdale
6I.	-Do-	22.I.84-26.I.84	26	"	"	"
62.	Cadett compair	I0.2.84-I6.2.84	80	"	"	Cadet
63.	Practice of Management Principles	I2.2.84-I5.2.84	30	"	"	Coverda-le
64.	Workshop on gainful complay	22.2.84-24.2.84	I50	"	"	I L O
65.	Training methodology	4.3.84 - I5.3.84	28	"	"	FAO/UNDP
66.	Practice of Management Principles	II.3.84-I5.3.84	26	"	"	Coverdale
67.	Crop production technoquis.	I8.3.84-I9.6.84	19	"	"	BARI
68.	Practice of Mangt.Principles	8.4.84-I2.4.84	26	"	"	Coverdale
69.	-Do-	I5.4.84-I8.4.84	I7	"	"	"
70.	Teaching Methodology	I5.4.84-I8.4.84	I4	"	"	FAO/UNDP
7I.	Co-op.Management Agro-II	I6.4.84-3.5.84	23	"	Tk.56I02/00	BARC
72.	Fertilizer demonstration	2I.4.84-25.4.84	60	Not available		FAO/UNDP
73.	Subject Matter	5.5.84- I0.5.84	48	"		CDB
74.	Sulpher	9.8.84-II.8.84	I2	"	"	
75.	Women in National Development.	9.8.84-II.8.84	60	"	"	M/o Welfare & Women Affairs.
76.	Teaching techniques	I3.8.84-2.9.84	40		Tk.95732/26	BARC
77.	Fertilizer demonstration	I0.9.84-I2.9.84	48	Not available		FAO/FERTILIZER
78.	Seed Certification	2I.9.84-6.I0.84	26	"		BARC/SCA
79.	Fertilizer.	23.9.84-I3.I0.84	40	"		BARC
80.	Teaching Tech.,Agril. related Subject management development.	20.II.84 -9.I2.84	39	Tk.9I,690/63		BARC.

I	2	3	4	5	6	7
81.	Crop Production teaching techniques.	10.12.84-30.12.84	40	Tk. 1,09,671/97	FAO/UNDP	FAO/UNDP
82.	Management, Administration & Finance Agril related subject.	12.1.85-7.2.85	42	Tk. 1,04,695/98	FAO/UNDP	
83.	Management development (International)	4.2.85-7.2.85	14	Not available	ERD/Coverdale	
84.	Refresher Course	9.2.85-10.2.85	60	"	BRDB	
85.	Workshop on farm research.	12.2.85 -14.2.85	70	"	OFRD/BARI	
86.	Management Dev. (International)	17.2.85-20.2.85	30	"	ERD/Coverdale	
87.	Refresher course	26.2.85-2.3.85	-	"	LGRD/D.C.Gazipur.	
88.	Water Management	9.3.85-21.3.85	-	"	BARC	
89.	Workshop on trainers training	18.3.85-28.3.85	-17	Tk.12,349/25	FAO/UNDP	
90.	Girls Guide comping	28.3.85-3.4.85	680	Not available	BCA	
91.	Fertilizer demonstration	6.4.85-18.4.85	30	"	BARC	
92.	-Do-	13.4.85-18.4.85	36	"	FAO/DAE,Fer.	
93.	-Do-	20.4.85-24.4.85	40	"	FAO/DAE,Fer.	
94.	Management Development	20.4.85-25.4.85	20	Tk.14,465/97	FAO/UNDP	
95.	Low cost media Production.	25.6.85-2.7.85	26	Tk.20,294/83	FAO/UNDP	
96.	Water management	20.7.85-1.8.85	30	Tk.60,223/73	BARC	
97.	Curriculum Planning	27.7.85-29.7.85	7	Not available	FAO/UNDP	
98.	BADC Mana-gement wo-rkshop	8.8.85-22.8.85	90	"	USAID	
99.	BADC Fertilizern marketing.	7.9.85-12.9.85	24	"	"	
100.	Teching tech. & Extension method.	14.9.85-28.10.85	20	Tk.1,14,399/40	FAO/UNDP	

1	2	3	4	5	6	7
101.	Women & employment	16.11.85 -17.11.85	50	Not available	BRDB/BACB	
102.	Leadership & Management of dev. of women executives.	18.11.85 -20.11.85	50	"	" "	
103.	ATI-curriculum & Farm development.	21.11.85 -25.11.85	16	"	FAO/UNDP	
104.	Advanced Trainers' training.	8.3.86 -17.3.86	20	Tk.28,637/36	" "	
105.	ATI-Curriculum dev. & Farm dev.	8.4.86-14.4.86	11	Tk.19,979/48	" "	
106.	Youth leaders training course	12.4.86 -5.5.86	40	Not available	ESCAP/UYD	
107.	Training management.	14.6.86-19.6.86	13	Tk.13,600/00	FAO/UNDP	
108.	Water Management	14.6.86- 3.7.86	30	Tk.1,05,443/02	BARC	
109.	Fertilizer demonstration	25.6.86-26.6.86	21	Not available	FAO/Fertilizer.	
110.	Fertilizer demonstration	28.6.86-29.6.86	21	"	" "	
111.	Summer camp.	5.7.86 -14.7.86	40	"	BCC	
112.	Residential training for rural poor	6.7.86 -6.8.86	26	"	ILO/CIFA	
113.	Extension methods & teaching	16.7.86-31.7.86	13	Tk.47,040/-	FAO/UNDP	
114.	Agro.Soil and S.Management.	19.7.86-7.8.86	21	Tk.52,460/64	" "	
115.	Fertilizer demonstration	2.8.86 -14.8.86	30	Not available	FAO/Fertilizer	
116.	CARE,Bangladesh LOTUS Project training.	9.8.86-14.8.86	51	Tk.37,193/65	CARE/LOTUS Project	
117.	-Do-	23.8.86-24.8.86	48	Tk.4,0028/07	" "	
118.	-Do-	30.8.86-5.9.86	56	Tk.44,392/16	" "	
119.	Teaching Technique & Extension.	6.8.86-25.9.86	20	Tk.64,210/97	FAO/UNDP	
120.	VGF of world food Programme, Kitchen gardening, Poultry keeping & Kitchen Fish rearing.	(a)20.9.86-27.9.86	24	Tk.30,435/62	" " & NEP	
		(b)23.10.86-8.86	-	Tk.29,727/25	" " "	
		(c)13.10.86-20.10.86	-	Tk.30,610.79	" " "	
		(d)22.10.86-29.10.86	-	Tk.27,137/09	" " "	

1	2	3	4	5	6	7
I21.	Teaching techniques & Extn.method.	18.10.86-30.10.86	27	Tk.53,527/13	FAO/UNDP	
I22.	Microcomputers for water supply & sanitation planning & design management.	26.10.86-11.11.86	20	Tk.46,076/03	World Bank/UNDP	
I23	Core trainers training.	1.11.86 -6.11.86	23	Not available	FAO/UNDP	
I24.	Teaching Tech. & Extension Method.	13.12.86-1.1.87	29	Tk.89,591/75	" "	
I25.	Soil & Land use guide	31.1.87-5.1.87	33	Not available	FAE/BARC	
I26.	Startegy Planning for 1988	3.2.87-6.2.87	4	Tk.16,224/90	Worldvision	
I27.	Biological Nitrogen fixation.	14.2.87-19.2.87	6	-	BAU	

N.B.: Amount spent as shown in colum no.5 was spent on the price situation of that time. At present the market price has become double. As such, the budget estimate will need 100% increased amount to include.

7－2 訓練カリキュラム

INDUCTION TRAINING FOR NEW RECRUITS OF B.C.S.(AGRI: AGRI) OFFICERS
TO BE HELD AT CERDI.

1.	Duration of the Course	:	3 weeks from 12.1.85 to 31.1.85
2.	Venue	:	Central Extension Resources Development Institute CERDI,Joydebpur,Dhaka.
3.	Target Population	:	67 fresh recruit of B.C.S(Agri : Agri.),Officers.
4.	Instructional hours	:	8.30 A.M. to 4.30 P.M.as per programme.
5.	Training facilities	:	Accommodation and meals would be provided at CERDI The training is residential one and all participants must stay in CERDI dormitory .Necessary training allowance will be provided as per provision of this training programme.
6.	Subject matter areas	:	Management,Administration.Finance,Agril.Subject matter.
7.	Course Co-ordinator	:	1). M.A.Sattar, DDAE,F.S.W. 2). Mr.Shamsul Alam Mian,DDAE (M.D.Unit),CERDI.
8.	Asstt.Course Co-ordinator (Group-A)	:	Mr.Q.Habib, DDAE(TMDU),Incharge,CERDI Mr.M.R.Gazi,Instructor (Plant Protection).
9.	Asstt.Course Co-ordinator (Group-B)	:	Mr.Md.Mosharrof Hossain,Sr.Instructor,TMD,CERDI. Mr.Md.Amjad Hossain.P.O.
10.	Asstt.Course Co-ordinator (Extra curricular activities)	:	Md.Abul Bashar Talukder,Senior Instructor (MD) Md.Feroz Hossain.Instructor(TM).CERDI.
11.	Admn./Finance	:	Mr.Md.Mokarram Hossain,ADMD(Admn.),CERDI. Mr.A.B.Mollah,Admn.Officer,CERDI.
12.	Editing & documentation	:	Mr.M.R.Gazi,Instructor (P.P) Mr.Amjad Hossain,P.O.
13.	Resource Persons contact	:	Mr.M.Q.Habib,DDAE(TMDU),I/C,CERDI.

Objectives :

The objectives of the programme specifically are to :

a) Enable them to take up their assigned job immediately.

b) Focus organisation and management of the Ministry of Agriculture. DAE and other organisations under the Ministry and outside to highlight the roles of those organisations towards Agriculture and Rural Development.

c) Clarify roles of a fresh recruits within the set up of DAE and his immediate task environment viz.Upazilla.

d) Provide first hand knowledge of the general rules and regulations of Agricultural Services, Management of personnel including finance accounts and different issues of office management and regulatory procedures.

e) Give impetus on the Agril.Development strategies.Agril.Planning Training Methodology.different approaches of Agril.Extension and Rural Credits.

f) Emphasise the role of Human relation in the service of agricultural Extension.

Detail Programme of the Induction Training of the Fresh recruits of B.C.S.(Agri: Agri Officers.

Date	Time	Topic	Resource person	Organization
11.01.85.	A.M.	Arival of the delegates at CERDI.	Mr.Abdul Jabbar & Mr.A.B.Mollah..	CERDI.
Day-1 12.01.85	09.00-09.15 10.30	Registration. Pre-evaluation	Mr.Motiar Rahman, Mr.Mosharrf Hossain Mr.M.R.Gazi.	
	10.30-11.30	T E A.		
	11.00-11.30	Unfreezing	Mr.S.Alam Mian Mr.A.B.Talukder, Mr.A.Jabbar.	
	11.30-12.00	Introduction of the Course.	Mr.S.Alam Mian.	CERDI.
	12.00-01.00	CERDI Visit.	Mr.A.B.Talukder, Mr.M.A.Dewan, Mr. M.R.Gazi, Mr.Hafiz Golam Kibria.	
	01.00-02.00	Lunch and Prayer.		
	02.30-03.30	Inauguration.	D.G.D.A.E.	
	03.30-04.00	Tea and Finish.		
Day-2. 13.1.85	08.30	ATI activities,roles and responcibilities of Instructors.	Mr.S.A.Moneem	Joint Director Training Wing, DAE.
	09.30	Activities/Functions of SCA & Role of Field officer.	Mr.M.S.Ahmed.	Director:SCA.
	10.30	T E A.		
	11.00	Roles and responsibilities of SAO/UAO.	Mr.Fazlur Rahman,	Add.Director FCW/DAE.
	12.00	Govt.Servant and service discipline	Mr.A.K.M.Mansur.	Rotd.Director, Training.
	13.00	Lunch and Prayer.		
	14.00-16.30	General rules regarding corresponding,receipts, despatch filing system, file register,recording. Indexing of files,stamps account register.	Mr.Mosleuddin.	DDAE(Admn) DAE.
	16.30	Tea and Finish.		

Day-3 14.01.85.	08.30	Concept of Upazela and its working procedure.	Mr.S.Islam./DG/ Mr.M.A.Siddique, Addl. Director	DAE.
	09.30	Register and records maintained at U.A.O.Office.	Mr.F.Rahman,	Add.Director, FSW/DAE
	10.30	T.E A		
	11.00	Different kinds of leave, General rules,sanctioning authority leave salary, absence from duty & service records.	Mr.Muslehuddin DDAE(Admn).	DAE.
	13.00	Lunch and Prayer.		
	14.00	Procedure of departmental enquiries & penalties.	Mr.Alauddin Siddique,	DAE.
	15.00	Physical verification of store and proper care of Govt.properties.	Mr.Mokarram Hossain.	ADAE,CERDI.
	16.30	Tea and Finish.		
Day.4. 15.01.85	08.30	Maintenance of cash book, preparation of pay bill, contigent bill,vouchers, procurement of service, postage stamp.	Mr.Hemayet Uddin	DAE.
	09.30	General rule regarding transfer,making over charge joining time,	Mr.A.Mazhan	DDAE,DAE
	10.30	T E A.		
	11.00	(a) G.P.Fund.Its purpose compulsory and optional subscriber,benefeciaries grant of advance,methods of payments & (b) Employee'S Benevolent fund.	Mr.A.Reshid,Asstt. Accounts officer,	A.G.S.
	12.00	Preparation of T.A.Bill,Tour diary and tour reports.	Mr.Mokarram Hossain	CERDI.
	13.00	Lunch and Prayer.		
	14.00	Factors influening distribution of Crops-climate topography,Economic condition.	T. Hamid,IPSA	Salna.
	15.00	Role of fertilizer as plant nutrient and methods of conducting fertilizer Demonstration.	Mr Morharul Hoque Addl.Director.	DAE.
	16.00	Tea and Finish.		

Day.5 16.1.85.	08.30	Methods of conducting varietal demonstration and crop cutting experiments.	Mr.M.A.Satter DDAE.	
	09.30	Integrated pest management and surviellance.	Dr.Anowarul Azim.	
	10.30	T E A.		
	11.00	Crop production situation of the country overall strategy for crop production in Bangladesh.	Mr.Anwarul Kibria. Addl.Director.	FCW.
	12.00	Varietal characteristics of newly evolved rice varieties and their performance.	Dr.M.M'd.Miah.	BRRI
	13.00	Lunch and Prayer.		
	14.00	Growth stages of rice and its cultivation with measures of increasing rice production.	Mo tior Rahman.	CI
	15.00	Identification of symptom and control measures of pests.	Karim.	
	16.00	T E A.		
Day-6. 17.0185	08.30	Identification of symptoms and control measure of major diseases of rice.	Dr.S.A.Mian.	BRRI.
	09.30	Varietal characteristics of wheat varieties and their performance.	Dr.Sufi Mohiuddin,	BRRI.
	11.00	Cultural practices of wheat under different situation in Bangladesh including post harvest operation.	Mr.M.A.Razzaque.	
	12.00	Control measures of pest and diseases of wheat.	Mr.M.N.A.Deqán,	CERDI.
	13.00	Lunch and Prayer.		
	14.00	Present position of pulse in Bangladesh and the stradegy for increasing summar pulse production.	Mr. M.A.Khaleque.	BARI.
	15.00	Present situation of oil seeds and starategy for increasing production.	Mr.M.A.Khaleque.	"
	16.00	T E A.		
18.01.85.		Holiday.		

1	2	3	4
19.01.85	8:30	Visit to BRRI	Mr.M.Q.Habib Mr.Amjad Hossain Bhuiyan
	11:00	Visit to BARI	-do-
	13:00	Lunch and Prayer	
	14:00	Descussion on visit and preparation of visit repotts.	Mr.M.Q.Habib, Mr.Mosharraf Hossain . Mr.Amjad Hossain Bhuian.
	15:00	Film show on Rice Production	Mr.Amjad Hossain Bhuian.
	16:00	Tea.	
20.01.85	08:30	Varietal Characters of improved varieties of Jute seed production & distribution.	Dr.Mosharraf Hossain BJRI.
	09:30	Major pests and discases of Jute & their control	-do-
	10:30	Tea.	
	11:00	Present situation of vegetables and fruits and prospect of production in Bangladesh.	Mr. M.A.Quddus Director, F.E.W.
	12:00	Nursery management for fruits and vegetables	Mr.Enamul Haque, DDAE/FCW.
	13:00	Lunch & Prayer.	
	14:00	Cultural operation for Major quick growing fruits.	Dr. Mamunur Rashid, BARI.
	15:00	Practical on propagation of fruit plants.	Mr. S.Zaman & Mr. M.A.Wadud, CERDI.
	16:00	Tea.	
21.01.85	08:30	Impact of Training on Agricultural Devel:pment	Mr.A.N.M.Shamsul Huda, ED,CERDI.
	09:30	Extension Methodology	Dr. S.G.Mahboob, Consultant FAO/UNDP.
	10:30	Tea.	
	11:00	Personnel development	-do-
	12:00	Evaluation and Monitoring	Mr. M.A.Satter, DDAE, DAE.
	13:00	Lunch & Prayer.	
	14:00	Practical on Training Equipment.	Mr.Mosharraf Hossain Mr.Amjad Hossain Bhuiyan
	16:30	Tea and finish.	

Contd....

1	2	3	4
22.01.85	08:30	Visit of BARC	Mr. Q. Habib Mr.A.B.Talukder.
	11:00	Visit to BJRI.	-do-
	14:00	Lunch & Prayer at CERDI.	
	15:00	Management by objectives	S.A.Mian, D.D.A.E.(MDU),CERDI.
	16:30	Tea and finish.	
23.01.85	08:30	Teaching procedure	Dr. S.G.Mahboob,Consultant FAO/UNDP
	09:30	Practical on Planning of an extension Training Programme.	-do-
	10:30	Tea.	
	11:00	Factors effecting teaching learning process.	-do-
	12:00	Meaus of Teaching for skill development.	-do-
	13:00	Lunch & Prayer.	
	14:00	Means of learning for skill development.	-do-
	16:00	Use of simple visual Aids	Mr. Dilip Chakrabarty,DDAE/AIS.
	16:30	Tea and finish.	
24.01.85	08:30	Characteristies of learners and extension cliantale.	Dr.S.G.Mahboob,Consultant, FAO/UNDP.
	09:30	Requisits of a good teacher	-do-
	11:00	Key elements of communication process.	-do-
	12:00	Participative Decision making.	Mr.A.N.M.Shamsul Huda
	13:00	Lunch & Prayer.	
	14:00	Farm Machinery	Mr. F.R.Chowdhury Mr. M.A.Satter.
	15:00	Input supply distribution and management.	Mr. M.Hossain Sarker, DDAE, FSW.

1.	2	3	4
	16:30	Tea and finish	
25:01;85		Green Revolution Game.	Mr. Amjad Hossain Bhyiyan & Associates.
26.01.85	08:30	Principles & procedures of supervision.	Mr.S.G.Mahboob,Consultant FAO/UNDP.
	09:30	Motivation and its principles	-do-
	10:30	TEA.	
	11:00	Group dynamices	Mr. S.Alam Miah,DDAE, CERDI,
	12:00	Team building	-do-
	13:00	Lunch & Prayer	
	14:00	Generation of Technology and E & R linkage.	Dr.Genio, Consultant, FAO/UNDP.
	15:00	T & V system and its components,	Fazlur Rahman Addl. Director F.C.W. DAE
27.01.85	08:30 to 13:00	Visit to Upezella to see how T & V system. working	Mr. M.Hossain Sarker.
	14:00	Lunch & Prayer.	
	15:00	Group discussion review on T & V System.	Dr.Genio, Consultant, FAO/UNDP.
28:01.85	08:30	Survery of a village for preparation of Extension programme.	Mr. Anwarul Karim, Consultant, FAU/UNDP.
	13:00	Lunch & Prayer.	
	14:00	Analysis of data,discussion and preparation of programme.	
29.01.85	Visit ot DAE;discussion on visit & preparation of report.		Mr.Qurban Ali Mian, Mr.A.B.Talukder CERDI, Mr. MrR.Gazi.
30.01.85	08:30	Current programmes & projects of DAE.	Mr. Matiar Rahman DAE Addl.Director
	09:30	Preparation,submission,Execution,evaluation of upazila project.	Mr.Rezaul Karim DAE Dy.Chief Planning.
		B R E A K	
	14:00	Post Evaluation	
31.01.85		C L O S I N G	

8. CERDIの訓練実施計画

Proposed Programme for In-service Training of ATI Senior Instructors and Instructors in Subject Matters.

Sl.No.	Subject	Participants	Venue	Duration	Period	Fund needed (Taka)	Remarks
1.	Agronomy, Soil and Soil Management	Senior Instructor-12 Instructor -12 24	CERDI	3 weeks	7-28 February/87	93,980.00	
2.	Horticulture	Senior Instructor-12	-do-	-do-	7-28 February/87	56,440.00	
3.	Agricultural Basic Science	Instructor -12	-do-	-do-	7-25 March/87	56,440.00	
4.	Extension	Senior Instructor-12 Instructor -12 24	-do-	-do-	7-25 March/87	93,980.00	
5.	Farm System Management	Senior Instructor-12	-do-	-do-	4-26 April/87	56,440.00	
6.	Crop Protection	Senior Instructor-12	-do-	-do-	4-26 April/87	56,440.00	
7.	Agril. Economics	Senior Instructor-12	-do-	-do-	4-26 April/87	56,440.00	
8.	Animal Husbandry & Fisheries	Instructor -12	-do-	-do-	4-21 May/87	56,440.00	
9.	Rural Life Development	Instructor -12	-do-	-do-	4-21 May/87	56,440.00	
10.	Farm Machinery	Instructor -12	-do-	-do-	4-21 May/87	56,440.00	
11.	Home Management	Instructor -12	ATI-Dhaka	ATI-	4-21 May/87	56,440.00	
						6,95,920.00	

DAEに対する計画書

On the basis the total cost for training of 48 batches will be Tk. 34.08 lakh as shown below:

Year	Lakh taka
1985-86	Nil
1986-87	8.52
1987-88	8.52
1988-89	8.52
1989-90	8.52
	Total 34.08

3.6.4 Refresher Training for Upazila Agriculture Officers (UAOs)

The refresher training aims at acquainting the Upazila Agricultural Officers with the latest developments in farm production technologies and their application in the field for increased agricultural production. It will also emphasise extension methods and techniques and communication process with special reference to T & V system of extension work.

Participants

All the UAOs numbering 460 would be covered by this programme.

Course content

The course will comprise crop production technology (particularly, covering location specific recommendations on package of practices), cropping systems, organic recycling, fertilizer use, plant protection measures, and irrigation and water management. Extension methods and techniques with particular reference to T & V system, communication process, use of low cost media for dissemination of information would also form part of the course.

Duration and place of training

The course will be conducted by batches at CARDI. The duration of the course is three weeks.

Number to be trained and phasing

Table-12 shows the number of UAOs to be trained each year. Almost all the UAOs will be trained by 1987-88. Another round of training will start from 1988-89.

Year	Place of training	No. of batches	No. to be trained
1985-86	CARDI/AAI	2	60
1986-87	"	6	180
1987-88	"	6	180
1988-89	"	5	150
1989-90	"	5	150
Total		24	720

Cost

Cost of training of each batch of 30 UAOs is estimated at Tk. 79,700.00 as shown below.

a) Participants' boarding, Tk. 60/- X 21 X 30	Tk.	37,800.00
b) Accomodation 10/- X 21 X 30	Tk.	6,300.00
c) Pocket allowance : 50/- X 21 X 30	Tk.	31,500.00
d) Honorarium for resource persons	Tk.	12,800.00
e) Stationery articles, paper, pen, marking pen, etc.	Tk.	5,000.00
f) Teaching materials	Tk.	8,000.00
g) Field trips	Tk.	3,000.00
h) Training kits 150/- X 30	Tk.	4,500.00
Sub-total ...	Tk.	1,08,900.00
e) Contingencies(5% of the Sub-total)	Tk.	5,500.00
Total	Tk.	1,14,400.00

On this basis, the total cost of training of 24 batches of UAOs will be Tk. 27.45 lakh shown below:

Year	Lakh taka
1985-86	2.29
1986-87	6.86
1987-88	6.86
1988-89	5.72
1989-90	5.72
Total	27.45

3.6.5 Inservice Training Programme for the Subject Matter Officers(SMOs)

The Subject Matter officers provide staff assistance to the UAOs at the upazila (unit) level and technical backstopping to the Block Supervisors (BSs) in the field. Their main functions are to organise the bi-weekly training programme of BSs, visit farmers' fields and demonstration plots to assist and guide BSs in their field work, maintain contact with research stations for updated information on technological development and refining of impact points to suit specific needs of an area, observe and analyse practices followed by progressive farmers and draw attention of their supervisors and research staff to the problems emanating from the field. They are basically agril. graduates. In view of the nature of their duties, they will be provided with three kinds of training, namely, Training on Teaching and Extension Methods, Crop Production Technology Training, and on-the-job training.

3.6.5.1 Training on Teaching & Extension Methods for SMOs

Objective of this training is to help the SMOs to get a clear understanding of the teaching techniques and various extension methods. The training will also help them acquire needed skills for using the teaching techniques and extension methods effectively.

Participants

All SMOs numbering 920 as per sanctioned strength (the existing number is 382) will be covered by the training programme. As the remaining vacancies are filled, the incumbents will be drawn for the training as planned.

Course content

The Course will cover Communication model, training need assessment, concept and philosophy of education and extension, planning teaching programmes, teaching methods and techniques, extension methods, public speaking, audio-visual teaching aids, evaluation and follow-up of training.

Duration and Place of Training

Duration of the training will be two weeks. The training will be conducted at CTDI, Joydebpur.

Number to be trained and phasing

Table-12 shows the number of SMOs to be trained each year. Training of the existing 382 SMOs will be completed in 1985-86 and 1986-87. It is proposed that subsequently 150 agricultural graduates (50% of the total agril. graduates produced per year) will join as SMO each year. Provision has, therefore, been made for training of 150 SMOs in each of the subsequent three years.

Table-13 Details of I.C. in the Training Course on Teaching and Extension Methods

Year	Name of Institution	No. of batches	No. to be trained
1985-86	CTDI	4	120
1986-87	"	9	270
1987-88	"	5	150
1988-89	"	5	150
1989-90	"	5	150
Total		28	840

Cost

The cost per batch of 30 SMOs will be as follows:

a) Participants' boarding: 60/- X 14 X 30	Tk.	25,200.00
b) Accommodation: 10/- X 14 X 30	Tk.	4,200.00
c) Pocket allowance: 50/- X 14 X 30	Tk.	21,000.00
d) Honorarium for resource persons @ Tk. 100/- per session	Tk.	8,500.00
e) Stationery articles - paper, ball pen marking pen, etc.	Tk.	4,000.00
f) Teaching materials	Tk.	4,500.00
g) P.O.L. for field trips	Tk.	2,000.00
h) Training kits 30 @ Tk. 150/-	Tk.	4,500.00
Sub-total	Tk.	73,900.00
i) Contingencies(5% of the Sub-total)	Tk.	3,700.00
Total	Tk.	77,600.00

On the above basis, the total cost of training 840 SMOs (28 batches) in five years works out at Tk.21.72 lakh as shown below:

Year	Lakh taka
1985-86	3.10
1986-87	6.95
1987-88	3.88
1988-89	3.88
1989-90	3.88
Total	21.72

3.6.5.2 Crop Production Technology Training for SMOs

Objectives of this training are to help the SMOs to (i) update & acquire technical knowledge & skills and be able to use them in their works; (ii) identify and suggest solutions to agricultural problems; and (iii) develop better understanding on the techniques & processes involved in transforming technology.

Participants

All SMOs numbering 928 as per sanctioned strength (the existing number is 382) will be covered by the training programme. As the remaining vacancies are filled up, the incumbents will be drawn for the training.

Course Content

The Course will include technologies of crop production, horticulture development, integrated pest management, irrigation and water management, etc.

Duration and place of training

Duration of the training course will be three weeks. The training will be conducted at the Regional Agricultural Research Stations of BARI, CHRDI, Joydebpur, and GAI of BAU, Mymensingh.

Number to be trained and phasing

Table 14 shows the number of SMOs to be trained each year. Training of the existing 382 SMOs will be completed by 1986-87. It is expected that subsequently 150 agricultural graduates (50% of the total agril. graduates produced per year) will join as SMO each year. Provision has, therefore, been made for training of 150 SMOs in each of the subsequent three years.

Table 14: Intake of SMOs in the Crop Production Technology Training

Year	Name of institution	No. of batches	No. to be trained
1985-86	CHRDI/GAI/RARSs	4	120
1986-87	"	9	270
1987-88	"	5	150
1988-89	"	5	150
1989-90	"	5	150
Total		28	840

Cost

The cost per batch of 30 SHOs will be as follows:

	Takas
a) Participants' boarding - 60/- X 21 X 30	37,800.00
b) Accommodation - 10/- X 21 X 30	6,300.00
c) Pocket allowance - 50/- X 21 X 30	31,500.00
d) Honorarium for resource persons @ Tk. 100/- per session	12,800.00
e) Stationary articles - paper, pen, marking pen, etc.	4,000.00
f) Teaching materials	6,800.00
g) P.O.L. for field trips	3,000.00
h) Training kits - 30 @ Tk. 150/-	4,500.00
Sub-total	1,06,700.00
i) Contingence (5% of the sub-total)	5,300.00
Total	1,12,000.00

On the above basis, the total cost of training 640 SHSs in 28 batches works out at Tk. 31.36 lakh as shown below:

Year	Lakh Taka
1985-86	4.48
1986-87	10.08
1987-88	5.60
1988-89	5.60
1989-90	5.60
	31.36

3.6.5.3 On-the-job Training of SHOs

Every month the SHOs participate in one-day training on impact points organized jointly by S.Ss and TO at the district level. The training focuses on the prepared lesson sheets of recommended impact points which SHOs will use in the next two fortnightly training meetings

of BSs. Aside from this, it is also a forum in which field problems are brought for discussion. While on training, SMOs should try to learn and practice impact points step-by-step to ensure that all points are clear; and they are thoroughly ready to conduct BSs training effectively. SMOs should be assisted by TO in the preparation of simple teachings aids, and by SMSs in the selection of topics or impact points for actual field practice to make their presentation on impact points more effective.

3.6.6 Inservice Training for the Subject Matter Specialists

Subject Matter Specialists are responsible in their respective disciplines for providing technical guidance and support to field extension staff; development of extension recommendations (impact points) and for training, particularly of SMOs. The SMSs are expected to ensure the flow of adequate technological package through extension workers for a balanced agricultural growth and development.

The SMSs have to be technically competent to shoulder their tasks and should invariably be provided with continuous inservice training for the following reasons:

a. their academic curriculum is not broad-based enough to encompass the entire spectrum of learning with which extension programme is concerned.

b. the new developments in technology usually take quite sometime to be incorporated in the University's academic programme.

Considering the need for continuous professional development of the SMSs it is necessary to provide them with training in teaching and extension methods, and production technology of different Crops. Arrangement will be made for the following inservice trainings for the SMSs.

i. Training on teaching and extension methods

ii. Rice Production technology Specialist Training Course.

iii. Other field Crops Production Technology Specialist Training Course.

iv. Horticulture Production Technology Specialist Training Course

v. Plant Protection Technology Specialist Training Course

vi. Water Management Specialist Training Course

vii. On-the-job Training

3.6.6.1 Training on Teaching and Extension Methods

Purpose of this training is to help the SMSs to have a clear understanding of the principles and procedures of extension work. The course will also attempt to develop knowledge and skills of the SMSs in teaching methods so as to enable them to do an effective job in the transfer of technology.

Participants

All SMSs numbering 188 as per sanctioned strength (the existing number is 154) will be covered by the training programme. As the remaining vacancies are filled, the incumbents will be drawn for the training.

Course Content

The course will cover training need a nessment, concept and philosophy of Extension, Education and training, planning teaching programmes, extension methods, teaching methods and techniques, audio-visual teaching aids, public speaking, and evaluation & followup of training.

Duration and place of training

The training will be conducted at C.MOI. The duration of the course will be two weeks.

Number to be trained and phasing

Table-15 shows that almost all the SMSs (180) will be given training in 1985-86 and 1986-87. In each subsequent years provision has been made for training of newly appointed S.Ss numbering about 30.

Table-15 Intake of SMSs in the Training Course on Teaching and Extension Methods

Year	Place of training	No. of batches	No. to be trained
1985-86	CMDI	3	90
1986-87	"	3	90
1987-88	"	1	30
1988-89	"	1	30
1989-90	"	1	30
		9	270

Cost

Cost of training each batch of 30 SMSs will be Tk. 77,600.00 as shown below:

		Taka
a)	Participants' boarding: Tk. 60/- x 14 x 30	25,200.00
b)	Accommodation: Tk. 10/- x 14 x 30	4,200.00
c)	Pocket allowance: Tk. 50/- x 14 x 30	21,000.00
d)	Honorarium for resource persons	8,500.00
e)	Stationary articles: papers, pen, marking pen, etc.	4,000.00
f)	Teaching materials	4,500.00
g)	Field trips	2,000.00
h)	Training kits: 150/- x 30	4,500.00
	Subtotal	73,900.00
i)	Contingencies (5% of the sub-total)	3,700.00
	Total	77,600.00

On this basis the total cost of training during the TTT will be Tk. 6.98 lakh as shown below:

Year	Lakh taka
1985-86	2.32
1986-87	2.32
1987-88	0.78
1988-89	0.78
1989-90	0.78
Total	6.98

9. 略　語表

LIST OF ABBREVIATIONS

AAS	All Agency Score
Ac.	Acre
AETI	Agricultural Extension Training Institute
AMS	All Media Score
ASS	All Source-use Score
Av.	Average
BADC	Bangladesh Agricultural Development Corporation
BAEC	Bangladesh Atomic Energy Commission
BARI	Bangladesh Agricultural Research Institute
BKB	Bangladesh Krishi (Agricultural) Bank
BR	Bangladesh Rice (from BRRI)
BRDB	Bangladesh Rural Development Board
BRRI	Bangladesh Rice Research Institute
CDC	Community Development Centre
CERDI	Central Extension Resource Development Institute
Cm	Centimetre
DAT	Days After Transplanting
DTW	Deep Tubewell
FYM	Farm Yard Manure
GDP	Gross Domestic Product
HTW	Hand-operated Tubewell
HYV	High Yielding Variety
INA	Institute of Nuclear Agriculture
IR	International Rice (from IRRI)
IRDP	Integrated Rural Development Programme
IRRI	International Rice Research Institute
LLP	Lowlift Pump
LV	Local Variety
MCS	Media Contact Score
Md.	Maund
Md/Ac	Maund per Acre
Md/H	Maund per Household
MP	Muriate of Potash
NPK	Urea (Nitrogen) + TSP (Phosphate) + MP (Potash)
PDB	Power Development Board
PI	Panicle Initiation

PSU	Primary Sampling Unit
REB	Rural Electrification Board
Sq. Cm.	Square Centimetre
Sq. In.	Square Inch
STW	Shallow Tubewell
SUS	Source Use Score
TAO	Thana Agricultural Officer
TD	Top-dressing
TEO	Thana Extension Officer
TSP	Triple Super-Phosphate
TV	Television
UAA	Union Agricultural Assistant
VEA	Village Extension Agent

AIS = Agricultural Information Service

AETI = 普及員養成所

ODC = Communits Development Center

AMDP	-	Agricultural Management Development Programme
APD	-	Academy for Planning Development
BARC	-	Bangladesh Agricultural Research Council
BAU	-	Bangladesh Agricultural University
BCS	-	Bangladesh Civil Service
BJRI	-	Bangladesh Jute Research Institute
BMDC	-	Bangladesh Management Development Centre
BTA	-	British Technical Assistance
CCD	-	Cash Crop Division
DAE	-	Department of Agricultural Extension
DTCP	-	Development Training and Communication Planning
ERP II	-	Extension Research Project (Phase II)
FAO	-	Food and Agriculture Organisation
FCD	-	Food Crops Division
FSD	-	Field Services Division
GTI	-	Graduate Training Institute
HAITTI	-	Higher Agricultural Inservice Training Institute
IDA	-	International Development Association
IARI	-	Indian Agricultural Research Institute
PATC	-	Public Administration Training Centre

(Contd.)

PPD	-	Plant Protection Division
PPMD	-	Practice Project Management Principles
RARS	-	Regional Agricultural Research Station
SRTI	-	Sugarcane Research and Training Institute
TD	-	Training Division
TFYP	-	Third Five Year Plan
T & V	-	Training and Visit System
UNDP	-	United Nations Development Programme
USDA	-	United States Department of Agriculture
WB	-	World Bank

<u>Frequently used abbreviations for officers</u>

AAEO	-	Assistant Agriculture Extension Officer
ADAE	-	Assistant Director Agriculture Extension
BS	-	Block Supervisor
DDAE	-	Deputy Director Agriculture Extension
DPD	-	Deputy Project Director
DG	-	Director General
JAEO	-	Junior Agriculture Extension Officer
PD	-	Project Director
PSO	-	Principal Scientific Officer
RDAE	-	Regional Director of Agriculture Extension
SMO	-	Subject Matter Officer
SMS	-	Subject Matter Specialist
SO	-	Scientific Officer
SSO	-	Senior Scientific Officer
TO	-	Training Officer
UAO	-	Upazila Agriculture Officer